

第2回厚真町議会定例会説明資料 (その2)

令和8年6月23日

第5次厚真町総合計画基本構想の策定について

第5次厚真町総合計画

基本計画

第5次厚真町総合計画基本計画

第3編 基本計画	2
第1章 基本計画の概要	3
第2章 基本計画の見方 施策・ロジックモデルの読み解き方	4
第3章 基本計画（ロジックモデル集）	6
第4章 18 施策の結果指標と社会的インパクト一覧	42
第4編 付 録	55
第1章 厚真町の人口の見通し	56
第2章 土地利用ビジョン	59
第3章 総合計画策定のあゆみ	61
第4章 総合計画策定メンバー	63

第 3 編 基本計画

第3編 基本計画

第1章 基本計画の概要

1-1 この基本計画の位置づけ

本計画は、基本構想に掲げる将来像の実現に向けて、具体的な施策の方向性と成果指標を明示するものです。全18施策について、取組内容から最終的な社会的インパクトまでの道筋を「ロジックモデル」として可視化し、成果志向の行政運営を推進します。

1-2 ロジックモデルと社会的インパクト

ロジックモデルとは、施策の取組（事業・活動）から社会的インパクト（地域における望ましい変化）までの因果関係を論理的に整理したものです。

各施策について、取組によって生み出される「**直接的結果**」と、その結果として地域や受益者に生じる「**社会的インパクト**」を明示しています。

直接的結果については、その実施状況を測る「**結果指標**」を設定しています。社会的インパクトについては、初期成果（2～4年）、中期成果（5～8年）、長期成果（9～10年）の3段階で整理し、各施策が目指す望ましい変化を明示しています。長期成果は、各施策が目指す「この施策が実現する未来」として表現しています。

これらを確認しながら施策の進捗状況を把握し、PDCAサイクルによる継続的な改善を図ります。

1-3 SDGs との関連について

本計画は、国連が定める「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に貢献するため、各施策とSDGsの17のゴールとの関連を明示しています。厚真町は、SDGsの理念である「誰一人取り残さない」持続可能なまちづくりを推進します。



私たちは持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

第2章 基本計画の見方 | 施策・ロジックモデルの読み解き方

2-1 見開きページの構成

本章では、厚真町の18の基本計画について、**左ページに施策の概要、右ページにロジックモデル図**を配置し、基本計画の全体像と成果までの道筋を可視化しています。

2-2 左ページ | 施策の概要

■施策が実現する未来（長期成果）

施策が最終的に目指す社会的インパクトの長期成果（長期的な理想の姿）を示しています。

■施策要旨

施策の目的と主な取組内容を180～200字程度で簡潔に説明しています。

■担当部署

施策を推進する町の担当課を示しています。

■直接的結果と結果指標

施策の取組によって直接生み出される成果と、その測定指標を示しています。

【表の見方】

例：

取組（事業・活動）から うまれる直接的な結果	直接的結果	結果指標	直接的結果を測る具体的な指標 (例：参加者数、実施件数など)
	資格取得者の増加	保育士資格取得者数	

■社会的インパクト（初期・中期）

直接的結果によってうまれる受益者や地域の変化・成果を、初期成果（2～4年）と中期成果（5～8年）に分けて示しています。

【表の見方】

例：

区分	誰が・何が	どうなる（望ましい状態）	成果指標
初期成果	保護者	子育てに必要な経済的負担が軽減	申請件数 申請実績

受益者（便益を受ける対象）
 社会に生じる変化や成果

※結果指標の現状値・目標値については、次章「18 施策の結果指標と社会的インパクト一覧」で詳しく記載しています。

2-3 右ページ | ロジックモデル図

取組（事業・活動）から社会的インパクト（地域における望ましい変化）に至るまでの因果関係を、図で示しています。

■ロジックモデルの流れ

左側から、取組（事業・活動） → 直接的結果 → 社会的インパクト（地域における望ましい変化）の流れになっています。

- ・取組（事業・活動）：町が実施する具体的な事業や活動
- ・直接的結果：取組の直接的な結果
- ・社会的インパクト（初期成果）：初期的（2～4年）に生じる社会や受益者の変化
- ・社会的インパクト（中期成果）：中期的（5～8年）に生じる社会や受益者の変化
- ・社会的インパクト（長期成果）：長期的（9～10年）に生じる社会や受益者の変化

■受益者の表示

社会的インパクトの各成果に、その成果を受ける対象（町民、事業者など）を記載しています。

2-4 指標の詳細について

各施策の結果指標の現状値と目標値、および社会的インパクトの一覧については、次章「18 施策の結果指標と社会的インパクト一覧」で詳しく記載しています。施策の進捗管理や評価の際には、両章を併せてご参照ください。

2-5 この章の活用方法

施策の全体像を把握したい場合：左ページの施策概要をご覧ください

施策の成果までの道筋を理解したい場合：右ページのロジックモデル図をご覧ください

具体的な数値目標を確認したい場合：次章「18 施策の結果指標と社会的インパクト一覧」をご覧ください

第3章 基本計画（ロジックモデル集）

3-1. 子ども・子育て支援の充実

施策が実現する未来（長期成果）

地域ぐるみで安心して子どもを育てられるまちの実現



■施策要旨

■担当部署：住民課、生涯学習課

子育て世帯の経済的・精神的な負担を軽減し、質の高い保育・教育サービスを提供します。多様な交流・体験機会の創出と切れ目ない相談支援体制の構築により、子どもの健やかな成長と保護者の笑顔を支えます。保育人材の確保・育成を進めるとともに、地域全体で子育てを支え合う仕組みづくりを推進し、子どもと保護者が安心してつながりを実感できるまちを目指します。

取組からうまれる結果

直接的結果	結果指標
資格取得者の増加	保育士資格取得者数
情報共有の拡大浸透	子育て情報発信回数
職場環境の向上	研修満足度/職員満足度
制度の利用者の増加	制度利用者数
主体的な遊び場の充実	利用者実績数（属性の把握）



地域にうまれる変化

区分	誰が・何が	どうなる（望ましい状態）	成果指標
初期成果	保護者	子育てに必要な経済的負担が軽減	申請件数 申請実績
	子ども 保護者	居場所が地域に増加	施設利用頻度 満足度
	子ども 保護者	保育の質の向上	保護者の保育満足度
	保護者	子育てに必要な精神的負担が軽減	子育て支援の満足度
中期成果	子ども	笑顔で暮らしている	子どもの生活満足度・ポジティブ感情
	保護者	笑顔で子育てできている	育児幸福感尺度

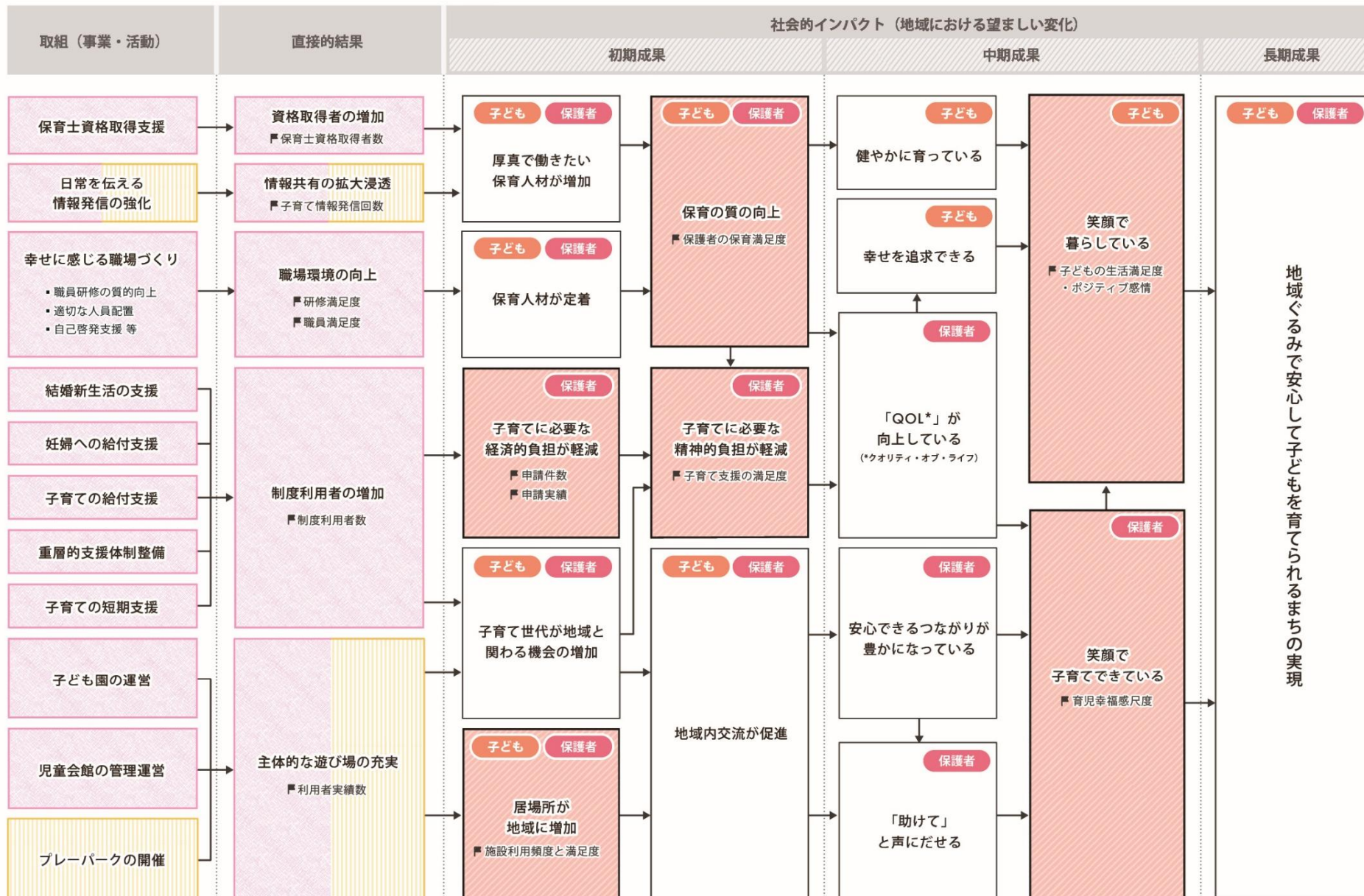
1 | 子ども・子育て支援の充実

住民課

生涯学習課

指標

重要な成果



2026年3月

3-2. 教育・多様な学びの充実

施策が実現する未来（長期成果）

誰もが学びの主人公となり、未来をともに生きていける地域の実現



■施策要旨

■担当部署：生涯学習課（教育委員会）、住民課

子どもから大人まで、主体的に学び、多様な価値観を受容できる環境を整備します。学校教育の質向上、ふるさと教育の推進、多様な学びの機会創出により、子どもの基礎学力と主体性を育みます。地域人材の活用や安心安全な学習環境の充実を通じて、誰もが学びの機会を見つけ、地域への誇りを持ちながら、未来をともに創る人材を育成し、学びの主人公となれる地域を目指します。

取組からうまれる結果

直接的結果	結果指標
相談者の増加	相談者数 多様な学びに対する相談
安心安全な学習環境の充実	いじめ認知件数 重大事態件数 重大事故件数
教育水準の向上	教員研修の開催数
制度利用者の増加	制度利用者数
参加者の増加	町民参加者数
主体的な居場所の充実	居場所の有無



地域にうまれる変化

区分	誰が・何が	どうなる（望ましい状態）	成果指標
初期成果	子ども	基礎学力が維持されている	全国学力・学習状況調査
	子ども	自ら考え行動できている	全国学力・学習状況調査 ふるさと教育
中期成果	子ども	まちづくりに参加できている	地域活動参加率 学力学習状況調査質問紙
	子ども 大人	厚真町に誇りを持っている	コミュニティ信頼・愛着度
	子ども 大人	主体的に学ぶ意欲が高まっている	小学生以上の学習実施率

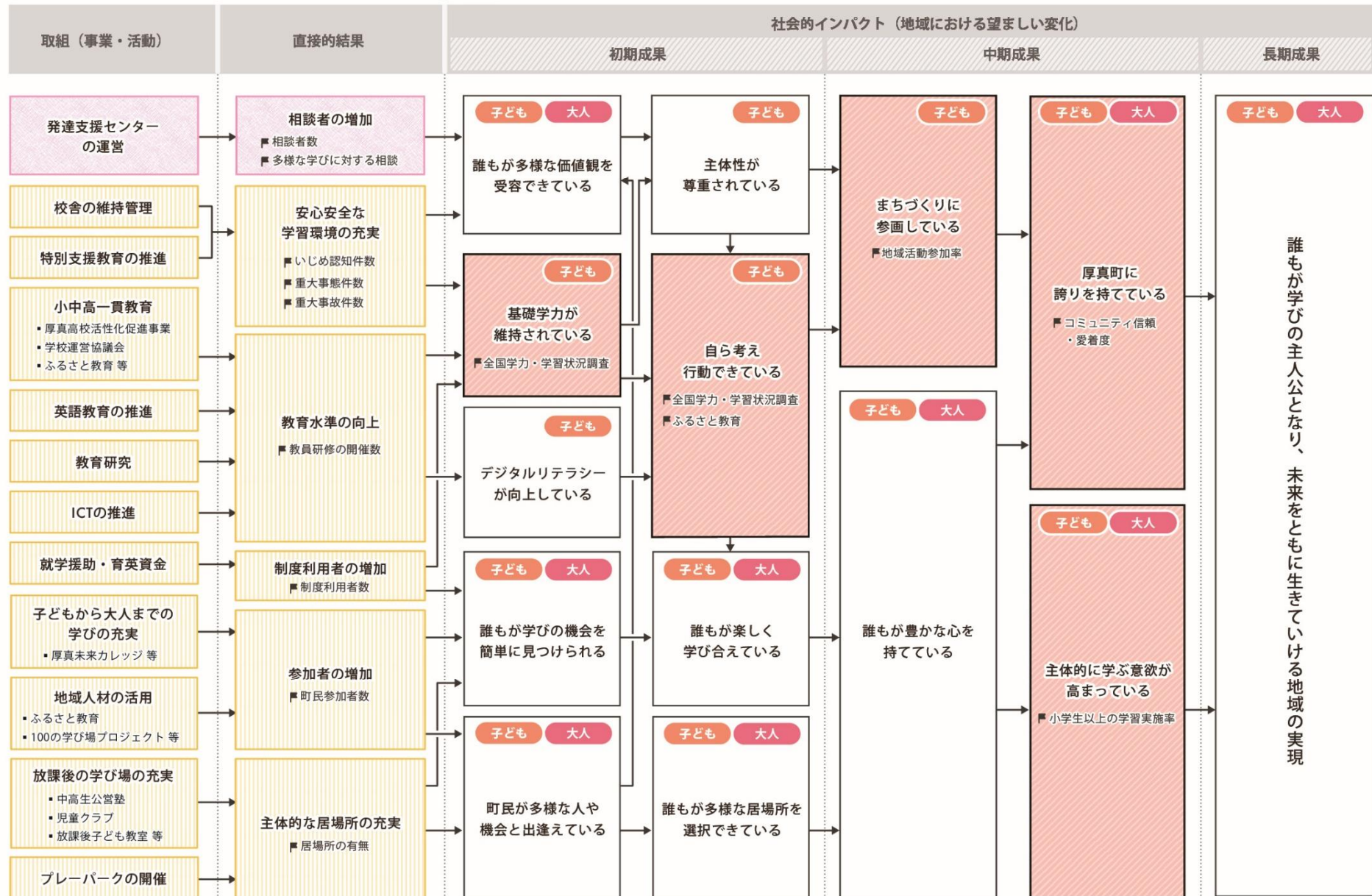
2 | 教育・多様な学びの充実

生涯学習課

住民課

指標

重要な成果



2026年3月

3-3. 歴史と文化の継承・スポーツの振興

施策が実現する未来（長期成果）

誰もが集い、つながり、楽しみ、いきがいを感じる暮らしの実現



■施策要旨

■担当部署：生涯学習課（教育委員会）、総務課

厚真町の歴史・文化の継承とスポーツ振興により、町民の心身の健康といきがいを育みます。文化財の公開・見学会、文化財ガイドの育成、総合型文化・スポーツクラブの設立を通じて、町民が地域の歴史・文化を学び、スポーツを楽しむ機会を創出します。町内外の人々がつながり、文化・スポーツを通じた交流を深めながら、誰もが集い、幸せを実感できる地域を目指します。

取組からうまれる結果

直接的結果	結果指標
学校保健体育の充実	体力・運動能力調査結果
見学者・来場者の増加	町内・外参加者数
文化財ガイドの増加	文化財ガイドの数
クラブ参加者の増加	登録者数
施設利用の開始	整備率



地域にうまれる変化

区分	誰が・何が	どうなる（望ましい状態）	成果指標
初期成果	町民	厚真町の歴史・文化やスポーツを楽しむ人の増加	文化・スポーツイベント参加率
中期成果	町民	厚真町の歴史・文化やスポーツに関する町民主体のコミュニティの増加	スポーツ・文化団体への加入率
	町民	心身の健康が向上	主観的健康感
	町民 町外住民	厚真の歴史・文化に興味を持つ人が増加	地域文化に対する興味度
	町民	幸せの実感の向上	地域生活満足度

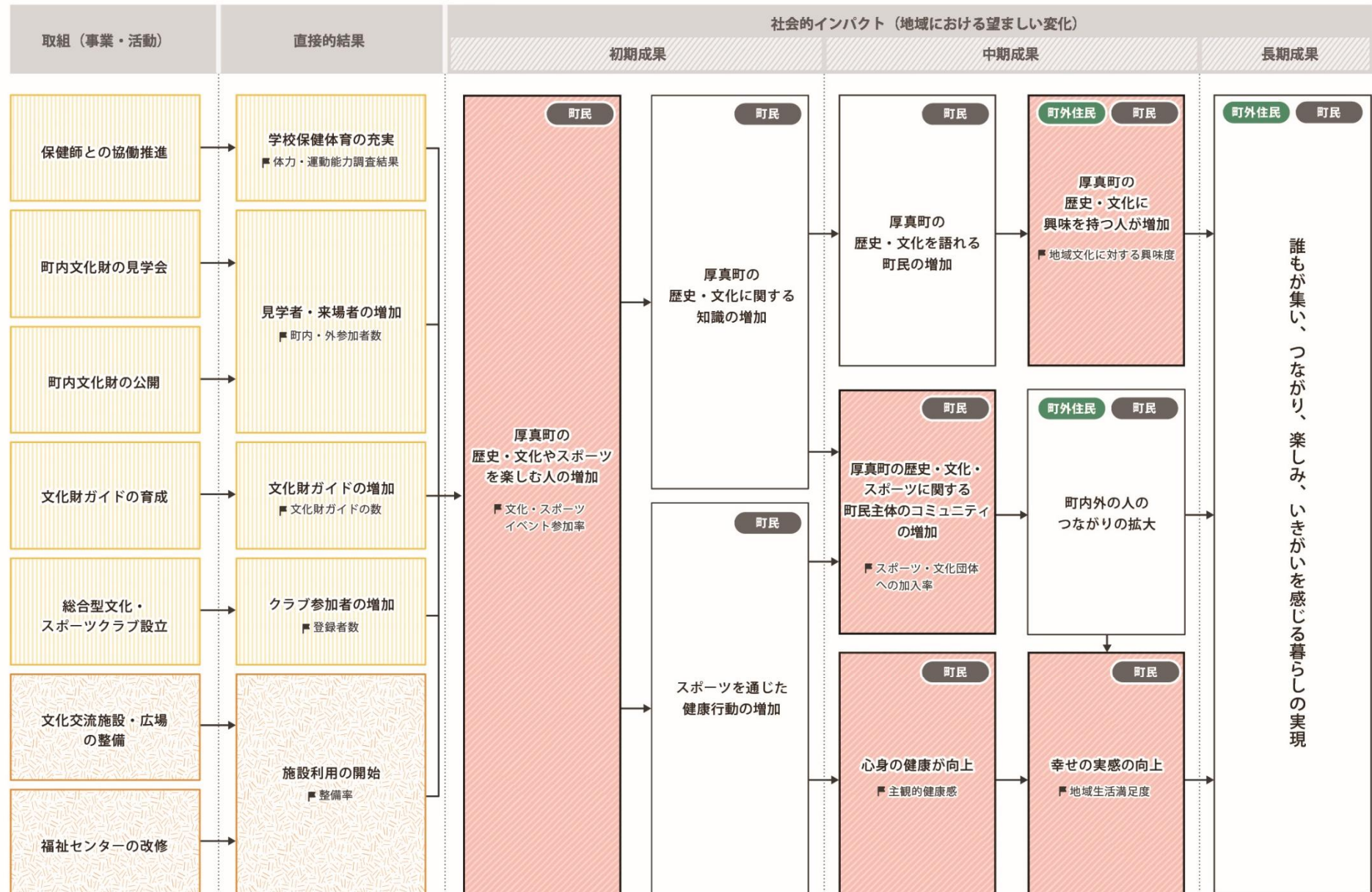
3 | 歴史と文化の継承・スポーツの振興

生涯学習課

総務課

指標

重要な成果



2026年3月

3-4. 官民学連携による人材の確保・育成

施策が実現する未来（長期成果）

誰もが町内外の人の挑戦を応援できる地域の実現



■施策要旨

■担当部署：まちづくり推進課、産業経済課、生涯学習課（教育委員会）、総務課

官民学が連携し、地域の持続的な発展を支える人材の確保・育成を推進します。町内事業者の経営基盤強化、多様な人材が活躍できる環境整備、実践的な学びの機会創出により、地域に根ざした人材を育てます。新しいチャレンジを応援する風土を醸成し、課題解決力を持つ人材が循環する仕組みをつくることで、誰もが町内外の人の挑戦を応援し、地域全体の活力向上を目指します。

取組からうまれる結果

直接的結果	結果指標
活用事例の増加	活用実績数・内容
挑戦者の増加	起業家数
大学連携事業の増加	連携事業数
活躍する人材の増加	地域おこし協力隊定住者数 地域活性化起業人受入人数
ふるさと町民の増加	ふるさと町民数
参加者の増加	町民参加者数
観光者の増加	観光者数
情報共有の拡大浸透	閲覧者数・発信者数
イベント参加者の増加	イベント参加者満足度
周辺地域の整備完了	整備率



地域にうまれる変化

区分	誰が・何が	どうなる（望ましい状態）	成果指標
初期成果	町外住民	厚真町に魅力を感じている	訪問者の魅力度
	町民 行政職員	挑戦を受け入れる空気が生まれている	eNPS （従業員・住民推奨度）
	町外住民	町外からまちづくりに関わる人が増加	町外からのまちづくり活動参加者数
中期成果	町民 町外住民	厚真で起業を目指す人が増加	起業相談件数
	行政職員	官民学連携による支援組織が活躍	支援された人・団体の変化 エピソード
	町民	やりたいことを持ち、形にする町民の増加	自己実現プロジェクト数・達成率

4 | 官民学連携による人材の確保・育成

まちづくり推進課

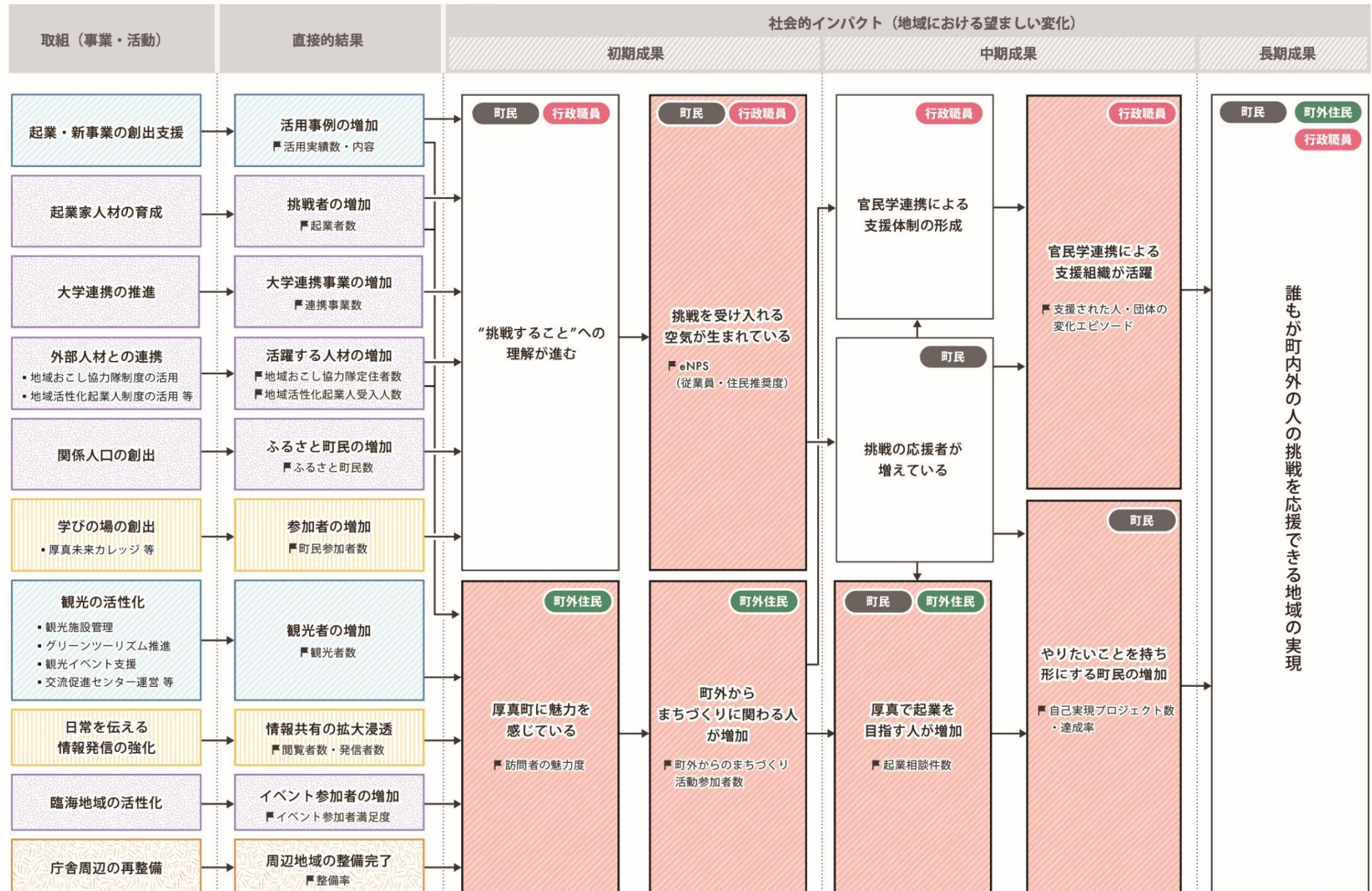
産業経済課

生涯学習課

総務課

指標

重要な成果



2026年3月

3-5. 高齢者福祉・介護の充実

施策が実現する未来（長期成果）

高齢者が安心して暮らせる地域の実現



■施策要旨

■担当部署：住民課

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境を整備します。認知症予防・支援、フレイル予防、社会参加の促進、介護サービスの充実により、高齢者の心身の健康と生きがいを支えます。地域住民の見守り・支え合いの促進と介護人材の確保・育成を通じて、持続可能な介護資源の維持・拡大を図り、高齢者が生きがいを持って安心して暮らせる地域を目指します。

取組からうまれる結果

直接的結果	結果指標
制度利用者の増加	受給者数
参加者の増加	参加者数
相談者の増加	相談者数
サービスや場所の利用者の増加	利用者数
担い手の増加	ボランティア数



地域にうまれる変化

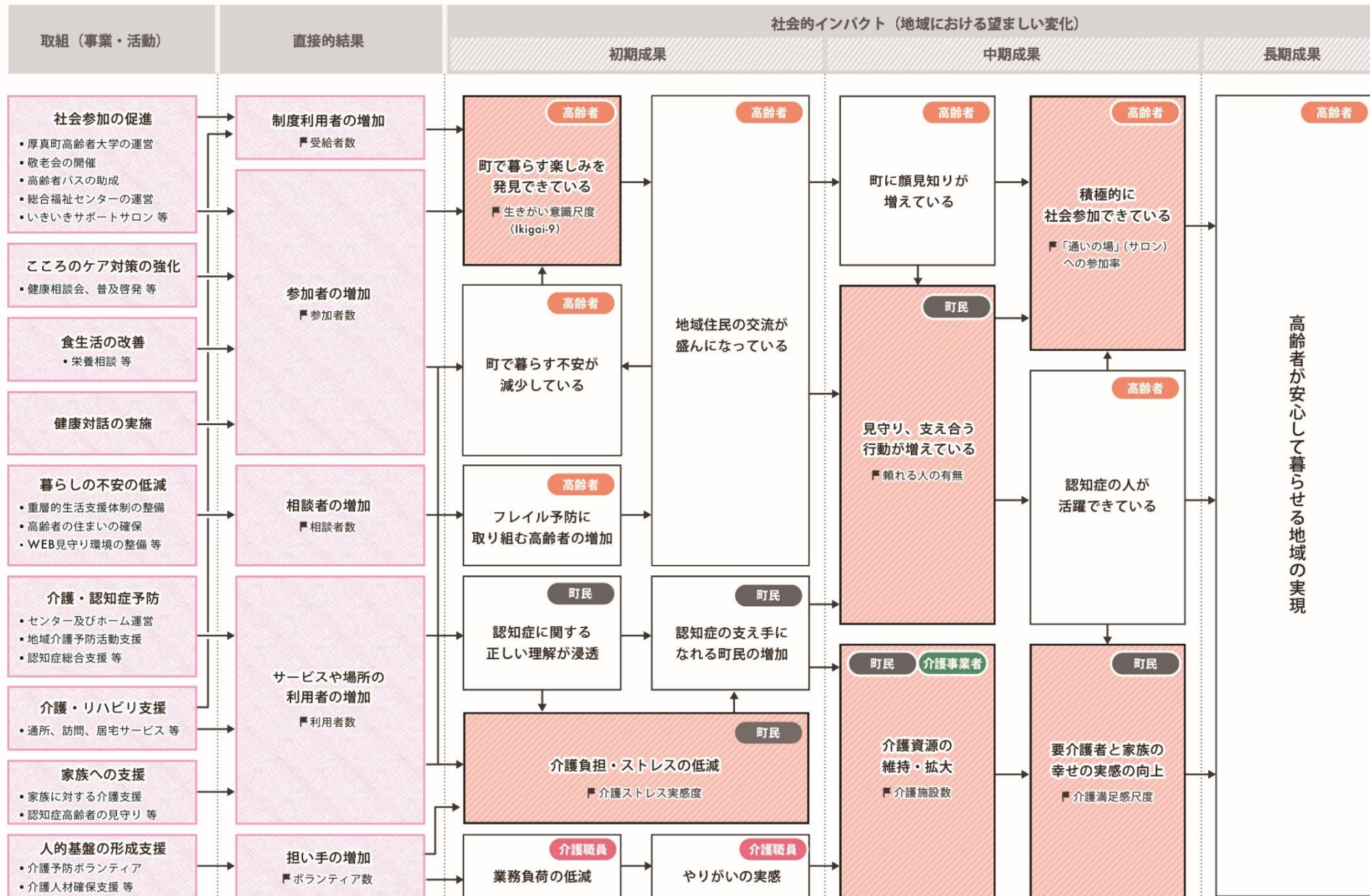
区分	誰が・何が	どうなる（望ましい状態）	成果指標
初期成果	高齢者	町で暮らす楽しみを発見できている	生きがい意識尺度（Ikigai-9）
	町民	介護負担・ストレスの低減	介護ストレス実感度
中期成果	町民	見守り、支え合う行動が増えている	頼れる人の有無
	町民 介護事業者	介護資源の維持・拡大	介護施設数
	高齢者	積極的に社会参加できている	「通いの場」（サロン）への参加率
	町民	要介護者と家族の幸せの実感の向上	介護満足感尺度

5 | 高齢者福祉・介護の充実

住民課

指標

重要な成果



2026年3月

3-6. 社会福祉・障がい福祉の充実



施策が実現する未来（長期成果）

どんな障がい・特性があっても認め支え合うまちの実現

■施策要旨

■担当部署：住民課、生涯学習課（教育委員会）

障がいや特性の有無に関わらず、誰もが自分らしく暮らし、地域社会に参画できる環境を整備します。障がいへの理解促進、特別支援教育の充実、バリアフリーの推進、相談支援体制の強化により、障がい者の自己効力感と地域への関与意欲を高めます。福祉人材の確保・育成を通じて持続可能な支援体制を構築し、どんな障がい・特性があっても認め支え合うまちを目指します。

取組からうまれる結果

直接的結果	結果指標
福祉人材基盤の形成	採用人数
個性に応じた学習環境の充実	多様な学びの事例
認知度の増加	相談先認知度
参加者の増加	参加者数
利用者の増加	利用者数・利用回数
制度利用者の増加	制度利用者数
被支援者の増加	相談支援件数
利用者の増加	①利用者数・利用日数 ②助成人数・助成延べ件数
バリアフリーの増加	工事完了率



地域にうまれる変化

区分	誰が・何が	どうなる（望ましい状態）	成果指標
初期成果	障がいのある人 障がいのない人	障がいや特性に対する理解の拡大	支援意欲・多様性との交流意欲
	障がいのある人	町内での暮らしやすさの向上	コミュニティ環境指数（MCEI）
中期成果	障がいのある人 障がいのない人	誰もが互いに支え合っている	地域コミュニティ感覚（BSCS） 相互扶助参加率
	障がいのある人 障がいのない人	誰もが自分らしく暮らせている	主観的幸福度（WHO-5）
	障がいのある人 障がいのない人	誰もが地域社会に参画できている	コミュニティ統合尺度（CIQ）

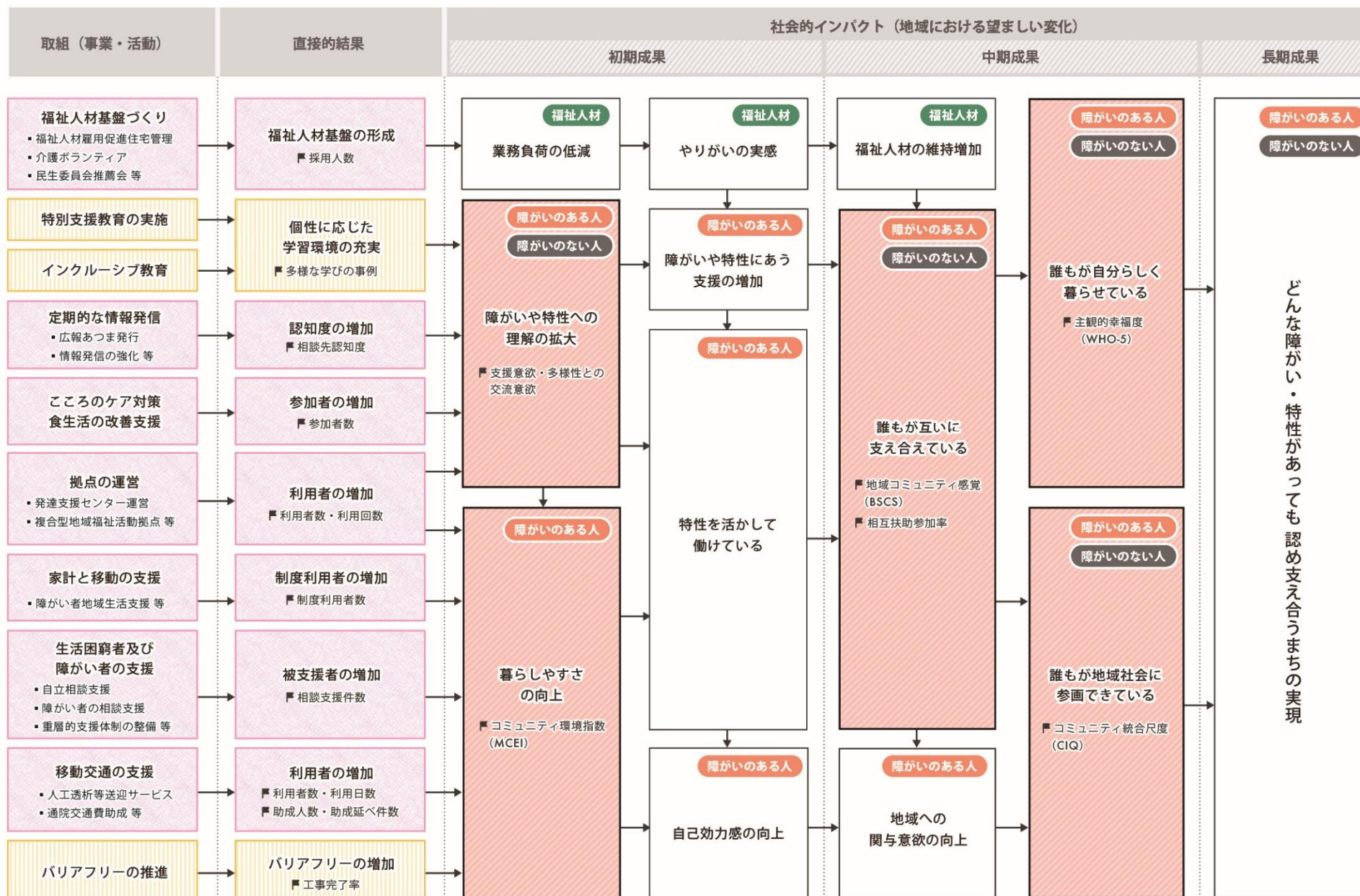
6 | 社会福祉・障がい者福祉の充実

住民課

生涯学習課

指標

重要な成果



どんな障がい・特性があっても認め支え合うまちの実現

2026年3月

3-7. 保健・医療の充実



施策が実現する未来（長期成果）

健やかな心のふるさとづくりを通じた健康長寿のまちの実現

■施策要旨

■担当部署：住民課

町民の心身の健康維持・増進と地域医療基盤の安定を目指します。心の健康、食習慣、身体に関する正しい知識の普及と健診・検診受診の継続促進により、健康行動の増加と病気の重症化抑止を図ります。医療従事者の確保、職場環境の向上、地域医療機関の経営安定により、持続可能な地域医療体制を構築し、健やかな心のふるさとづくりを通じた健康長寿のまちを目指します。

取組からうまれる結果

直接的結果	結果指標
参加者の増加	参加者数
検診初回受診者の増加	検診初回受診率
保健医療の連携維持	連携実施数
かかりつけ医として利用する町民の増加	健康状態不明者の人数



地域にうまれる変化

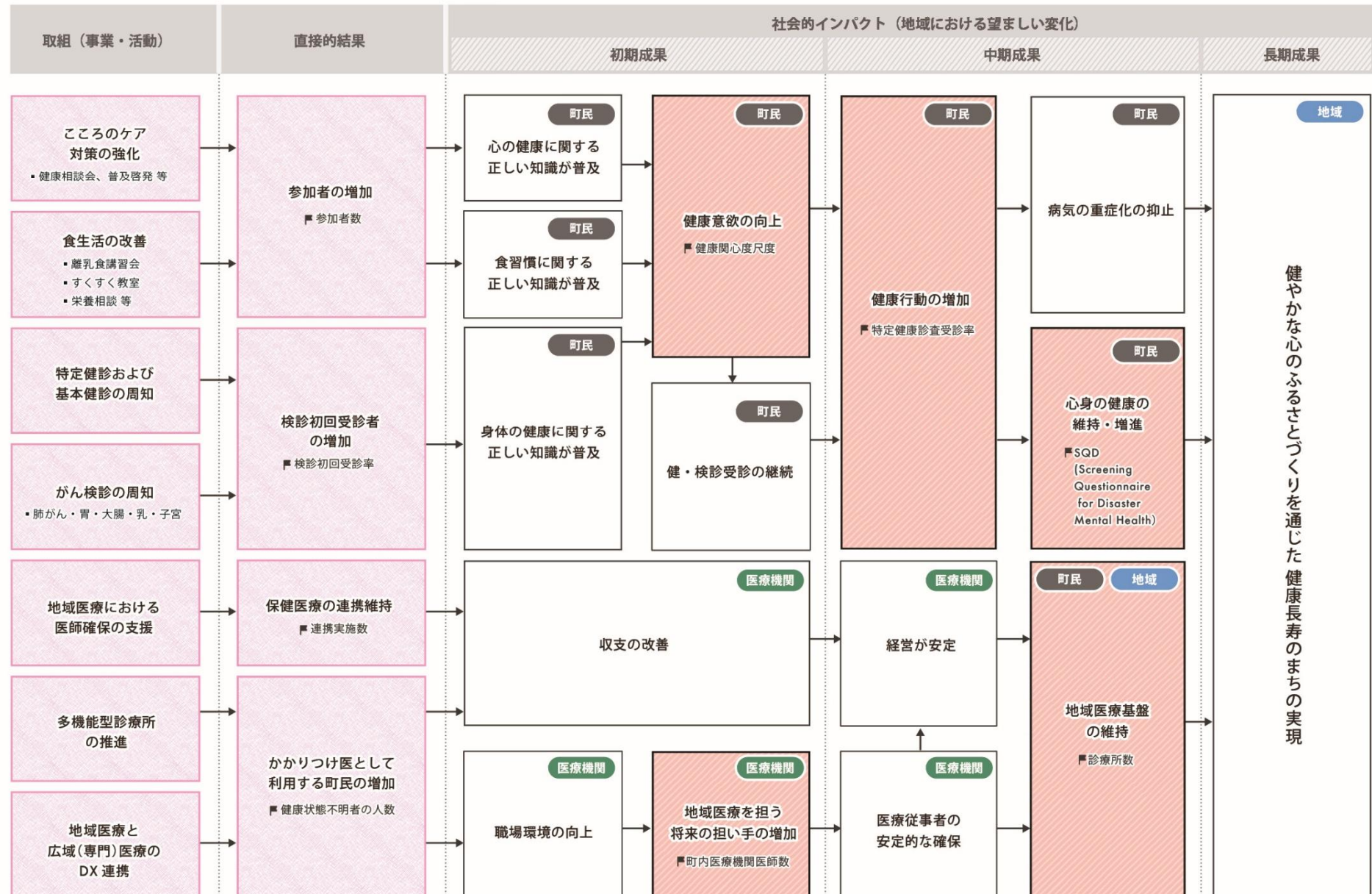
区分	誰が・何が	どうなる（望ましい状態）	成果指標
初期成果	町民	健康意欲の向上	健康関心度尺度
	医療機関	地域医療を担う将来の担い手の増加	町内医療機関医師数
中期成果	町民	健康行動の増加	特定健康診査受診率
	町民	心身の健康の維持・増進	SQD(Screening Questionnaire for Disaster Mental Health)
	地域町民	地域医療基盤の維持	診療所数

7 | 保健・医療の充実

住民課

指標

重要な成果



2026年3月

3-8. 農畜産業の振興

施策が実現する未来（長期成果）

農畜産業者の魅力ある経営の実現



■施策要旨

■担当部署：産業経済課

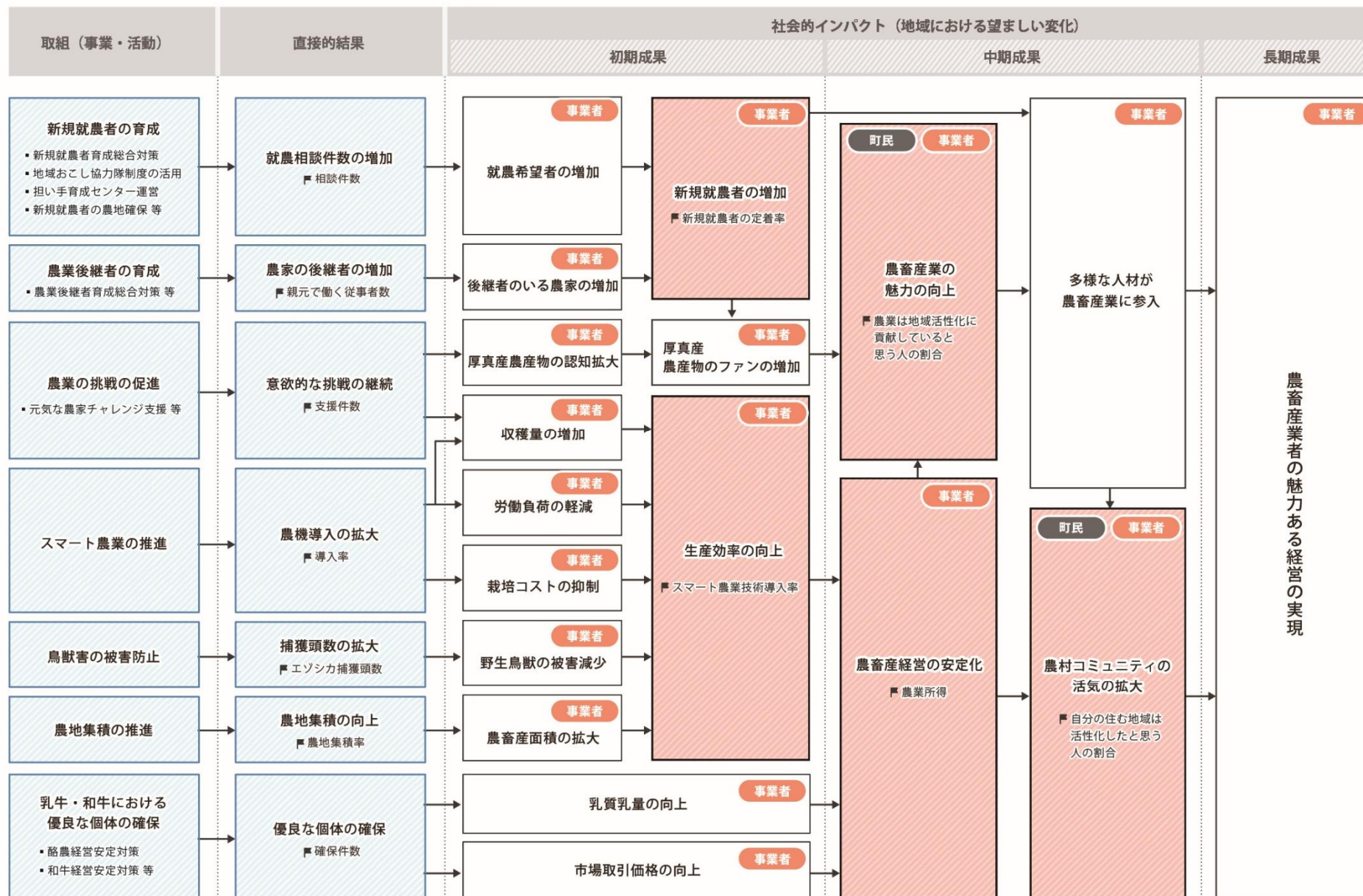
厚真町の基幹産業である農畜産業の持続的な発展を推進します。新規就農者・後継者の育成、スマート農業の推進、土壌診断による生産性向上、鳥獣害対策により、多様な人材が参入し、意欲的に挑戦できる環境を整備します。乳質・乳量の向上や市場取引価格の向上を通じて経営を安定化させ、厚真産農産物のファンを増やし、農村コミュニティが活気に満ちた魅力ある経営の実現を目指します。

取組からうまれる結果

直接的結果	結果指標
就農相談件数の増加	相談件数
農家の後継者の増加	親元で働く従事者数
意欲的な挑戦の継続	支援件数
農機導入の拡大	導入率
捕獲頭数の拡大	エゾシカ捕獲頭数
農地集積の向上	農地集積率
優良な個体の確保	確保件数

地域にうまれる変化

区分	誰が・何が	どうなる（望ましい状態）	成果指標
初期成果	事業者	新規就農者の増加	新規就農者の定着率
	事業者	生産効率の向上	スマート農業技術導入率
中期成果	事業者 町民	農畜産業の魅力の向上	農業は地域活性化に貢献している と思う人の割合
	事業者	農畜産経営の安定化	農業所得
	事業者 町民	農村コミュニティの活気の拡大	自分の住む地域は活性化したと 思う人の割合



3-9. 林業の振興

施策が実現する未来（長期成果）

森林の多面的機能の回復と持続可能な林業の実現



■施策要旨

■担当部署：産業経済課

被災森林の再生、林業のスマート化・ICT化、厚真産材のブランド化、担い手確保を推進します。山林の適切な維持管理、鳥獣被害の減少、木材価値と需要の増加により、林業者の収益向上を図ります。森林の多面的機能を回復させ、町民が安心して自然と共存できる環境を整備するとともに、持続可能な林業経営を通じて地域の森林資源を次世代へ継承します。

取組からうまれる結果

直接的結果	結果指標
イベント参加者の増加	参加者数
木材・林業者新規就業者数の増加	従事者数
町産材の流通量増加	流通量
加工品の増加	新規加工品事例
新技術の導入	導入事例
機械・デジタル化の導入拡大	①ICT化・省力化の導入 ②デジタル化率
有害鳥獣の適正化	ヒグマ事故数

地域にうまれる変化

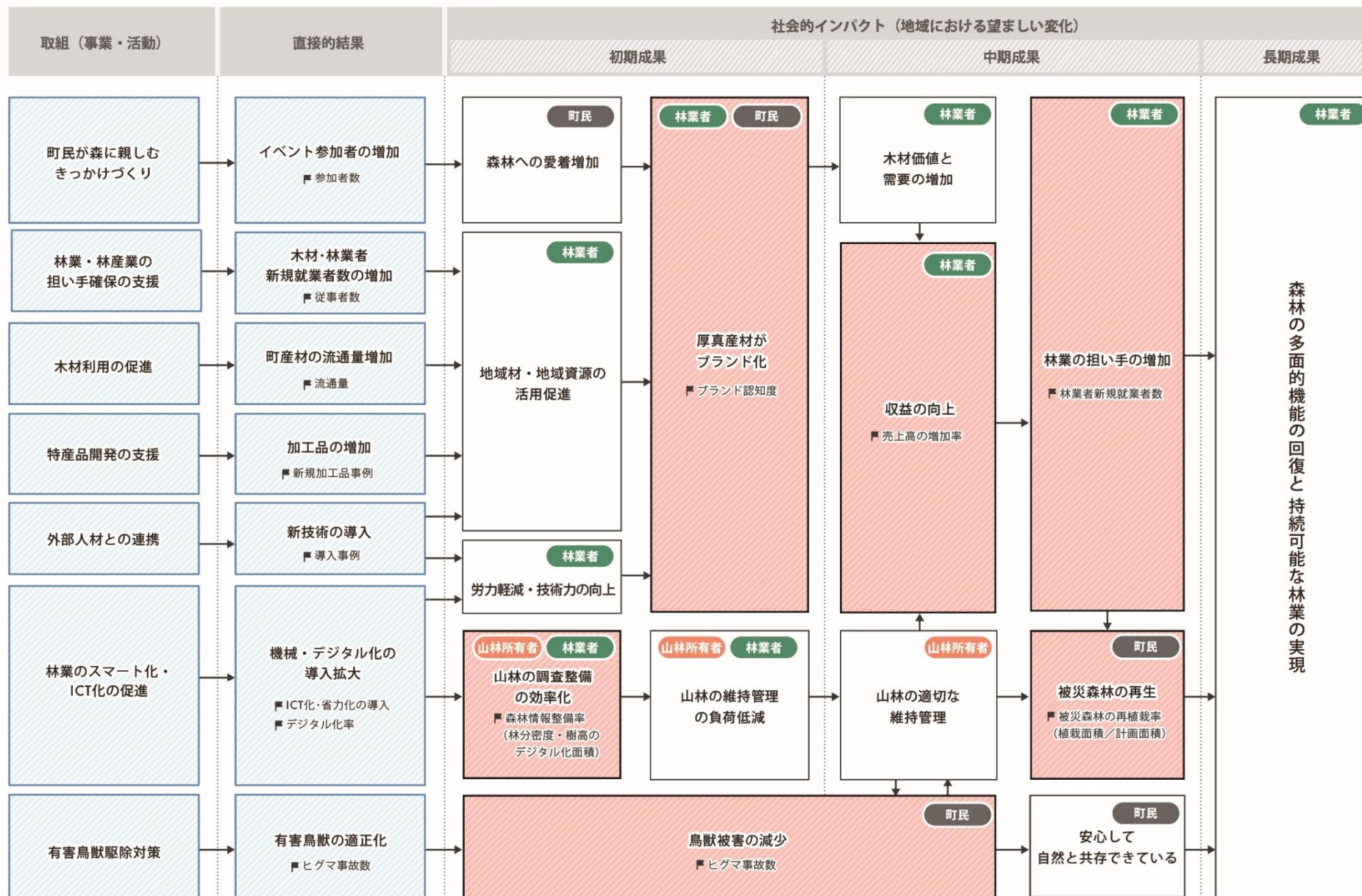
区分	誰が・何が	どうなる（望ましい状態）	成果指標
初期成果	林業者 町民	厚真産材がブランド化	ブランド認知度
	山林所有者 林業者	山林の調査整備の効率化	森林情報整備率 （林分密度・樹高のデジタル化面積）
	町民	鳥獣被害の減少	ヒグマ事故数
中期成果	林業者	収益が向上	売上高の増加率
	林業者	担い手の増加	林業者新規就業者数
	町民	被災森林の再生	被災森林の再植栽率 （植栽面積／計画面積）

9 | 林業の振興

産業経済課

指標

重要な成果



2026年3月

3-10. 水産業の振興



施策が実現する未来（長期成果）

持続可能で高付加価値な漁業の実現

■施策要旨

■担当部署：産業経済課

水産資源の適正管理、漁業後継者の育成、資金供給の実施により、漁業人口の増加と漁業者の収入安定を図ります。水産品のブランド化、漁獲量の安定・増加、漁獲経営の革新を通じて、水産品が高値で取引される環境を整備します。持続可能な資源管理と高付加価値化を両立させ、厚真の水産業が次世代に継承される魅力ある産業として発展することを目指します。

取組からうまれる結果

直接的結果	結果指標
水産資源の適正管理	漁組の求めに応じた施策実施事例
漁業参入に関する相談件数の増加	相談件数
制度利用者の増加	制度利用者数



地域にうまれる変化

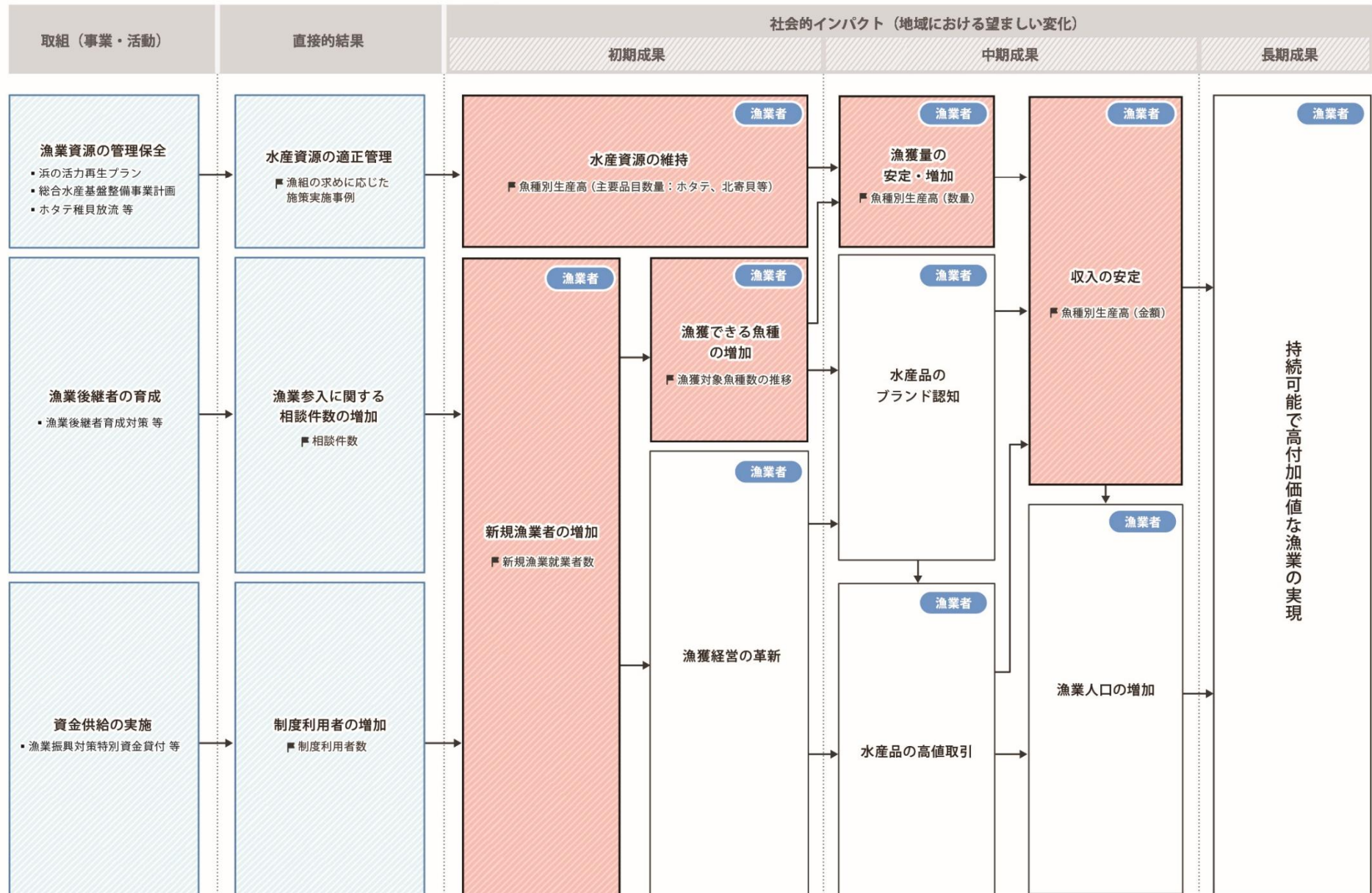
区分	誰が・何が	どうなる（望ましい状態）	成果指標
初期成果	漁業者	水産資源の維持	魚種別生産高（主要品目数量：ホタテ、北寄貝等）
	漁業者	新規漁業者の増加	新規漁業就業者数
	漁業者	漁獲できる魚種の増加	漁獲対象魚種数の推移
中期成果	漁業者	漁獲量の安定・増加	魚種別生産高（数量）
	漁業者	漁業者の収入の安定	魚種別生産高（金額）

10 | 水産業の振興

産業経済課

指標

重要な成果



2026年3月

3-11. 商工業・観光の振興



施策が実現する未来（長期成果）

地域資源を活かした新たな価値の創出による活気あるまちの実現

■ 施策要旨

■担当部署：まちづくり推進課、産業経済課

事業承継支援、起業・新事業創出支援、経営支援、観光の活性化により、魅力的な商品・サービス・場所を増やします。町内経済の循環促進、観光客の増加、地域の魅力発信を通じて、商工業者の売上拡大と地域への再投資を促進します。地域資源を活かした新たな価値創出により、不動産の流動性を高め、活気あふれるまちの実現を目指します。

取組からうまれる結果

直接的結果	結果指標
経営戦略の強化	協働型地域おこし協力隊 新規受入事業者数
キャッシュレス決済・ EC事業の増加	EC導入事業者数
効果的な支援の実行	経営支援利用者数
承継希望事業者の把握	事業承継に係る相談数
挑戦者の増加	プロジェクト参加者数
不動産相談件数の増加	相談件数
観光者の増加	観光入込客数
情報共有の拡大浸透	拡散係数
イベント参加者の増加	イベント参加者満足度



地域にうまれる変化

区分	誰が・何が	どうなる（望ましい状態）	成果指標
初期成果	事業者	新業界・新業種での起業の増加	起業者数
	町民 事業者	魅力的な商品・サービス・場所が増加	新商品・新サービス開 発件数
	地域	地域の魅力が発信・拡散	公式アカウントのフ ォロワー数
中期成果	事業者	商工業者の売上が拡大	法人税収額
	事業者 地域	観光者の継続的な拡大	観光入込客数
	町民 事業者	町内における経済循環が拡大	地域経済循環率

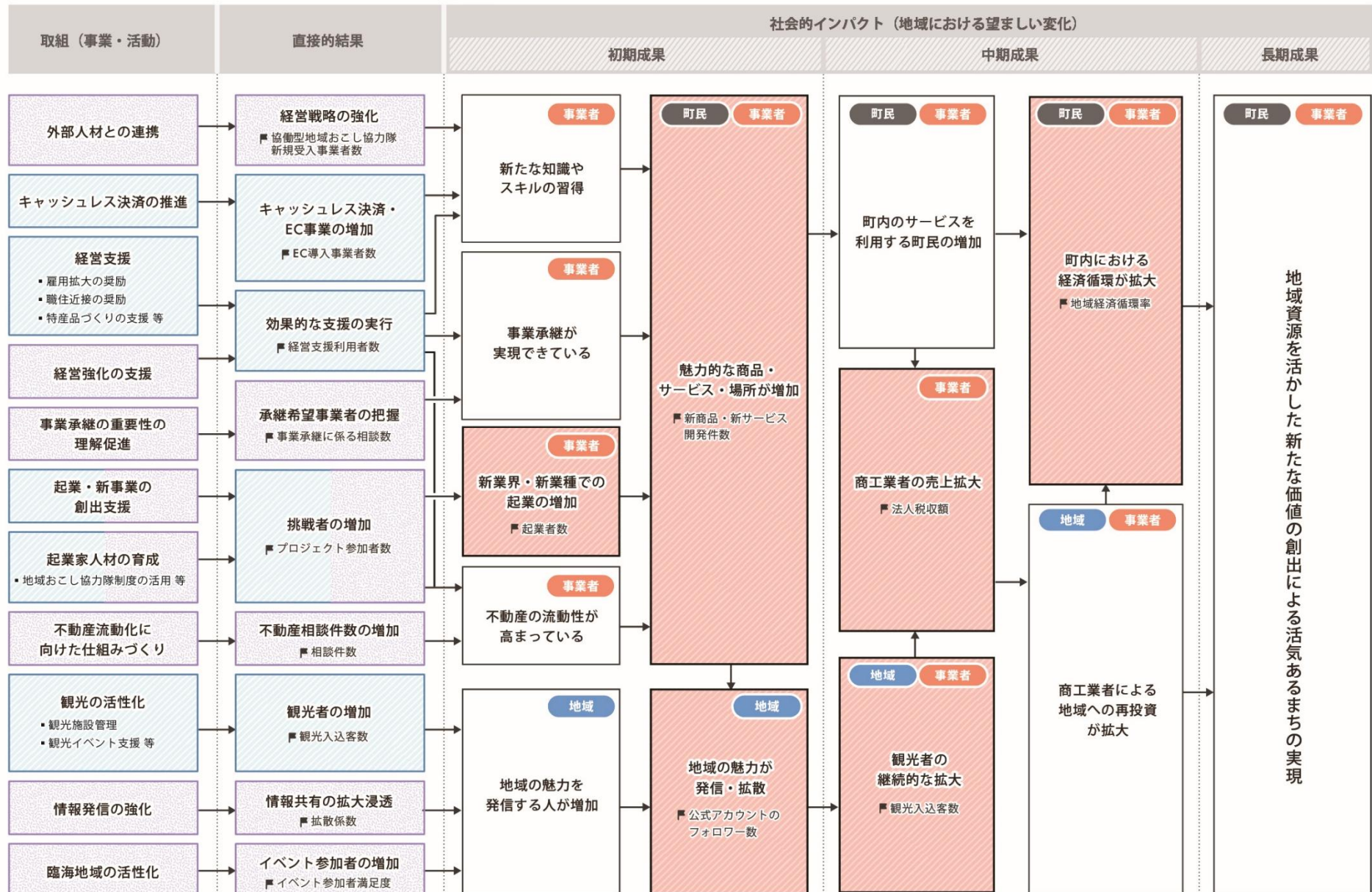
11 | 商工業・観光の振興

まちづくり推進課

産業経済課

指標

重要な成果



2026年3月

3-12. 地域経済の活性化



施策が実現する未来（長期成果）

豊かさを実感できる持続可能な地域経済の確立

■施策要旨

■担当部署：産業経済課、まちづくり推進課、総務課

多様な事業者同士の交流促進、域外需要の取り込み、域内消費の拡大により、経済的豊かさの実感を高めます。新たな雇用機会の創出、魅力的な商品・サービス・場所の増加、高付加価値の新産業育成を通じて、事業者の事業性拡大と町のファン増加を図ります。地域経済の好循環を生み出し、豊かさを実感できる持続可能な地域経済の確立を目指します。

取組からうまれる結果

直接的結果	結果指標
活躍する人材の増加	地域おこし協力隊定住者数
利用者の増加	オフィス利用率
施設利用の開始	整備率
官民連携の強化	官民連携事業数
挑戦者の増加	起業者数
起業者の売上増加	起業者の売上金額
地域で経営を続ける事業者の増加	商工会会員数
カード利用者の増加	あつまるカード発行数
観光者の増加	観光者数
寄付の増加	企業版ふるさと納税件数

地域にうまれる変化

区分	誰が・何が	どうなる（望ましい状態）	成果指標
初期成果	事業者	地域内消費の拡大	地域経済循環率
	事業者	多様な事業者による効果的な連携の促進	連携プロジェクト数および多様性
	事業者	高付加価値の新たな産業が増加	産業立地係数（ロケーションクォシエント：LQ）
中期成果	事業者 町民	新たな雇用機会の創出	開業率
	町民	経済的な豊かさを実感	主観的豊かさの度合い

12 | 地域経済の活性化

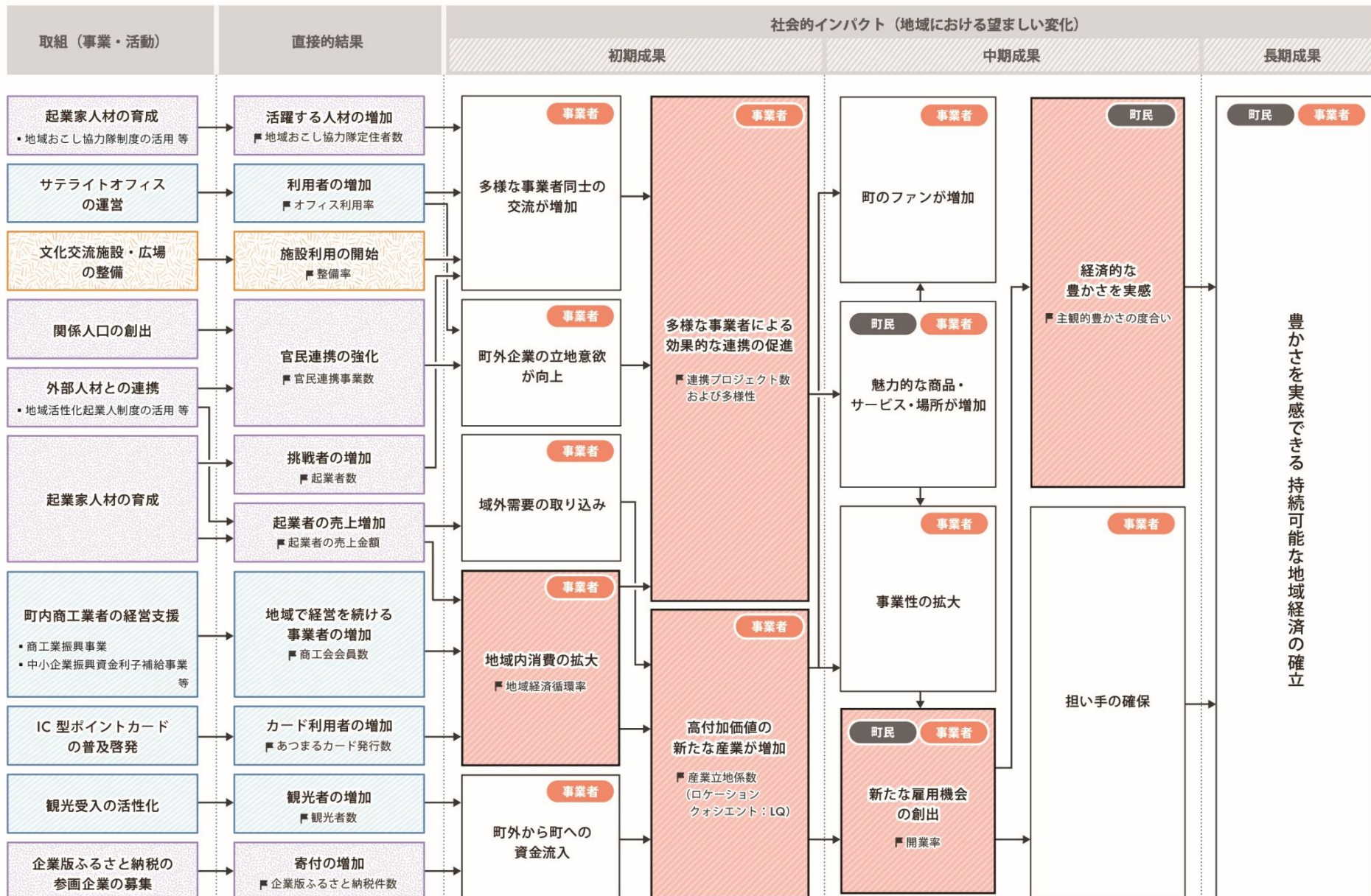
産業経済課

まちづくり推進課

総務課

指標

重要な成果



2026年3月

3-13. 都市機能の最適化



施策が実現する未来（長期成果）

町民にとって安心・安全・快適で楽しい環境の実現

■施策要旨

■担当部署：建設課、総務課、まちづくり推進課

公共施設の総合管理、公園管理、地域公共交通対策、DXの推進、ユニバーサルデザイン化により、快適な都市機能を提供します。技術職員の確保・育成、デジタル化の推進、公共施設・公共交通の最適化を通じて、持続可能で効率的なまちづくりを進めます。すべての町民が安心・安全・快適に暮らし、楽しめる環境を整備し、生活満足度の向上を目指します。

取組からうまれる結果

直接的結果	結果指標
施設の再編	再編の進捗率
環境の改善	予防保全の実施件数 水道管の更新化率 下水道管の更新化率
移動手段の確保・維持	地域公共交通の普及啓発活動事例 デマンド交通の収支率
技術職志望者へのアプローチ増加	リクルート活動実績数
デジタル化の拡大	デジタル技術導入事例 AI活用事業数
情報通信環境の整備	衛星インターネット通信環境の整備件数
ユニバーサルデザイン(UD)の拡大	公共施設・道路公園のUD整備率

地域にうまれる変化

区分	誰が・何が	どうなる（望ましい状態）	成果指標
初期成果	自治体	公共施設・公共交通の持続性の向上	収支比率
	町民	場所にとらわれないデジタル環境の拡大	必要なサービスに「困らずアクセスできる」住民の割合
	町民	誰もが安心して暮らせる実感の拡大	ユニバーサルデザインに対する安心感・満足度
中期成果	町民	技術職員不足の解消	住民の都市機能満足度
	自治体	快適な都市機能の享受	技術職員の充足率技術職員の離職率・定着率
	町民	魅力的な美観・景観の維持	景観満足度

13 | 都市機能の最適化

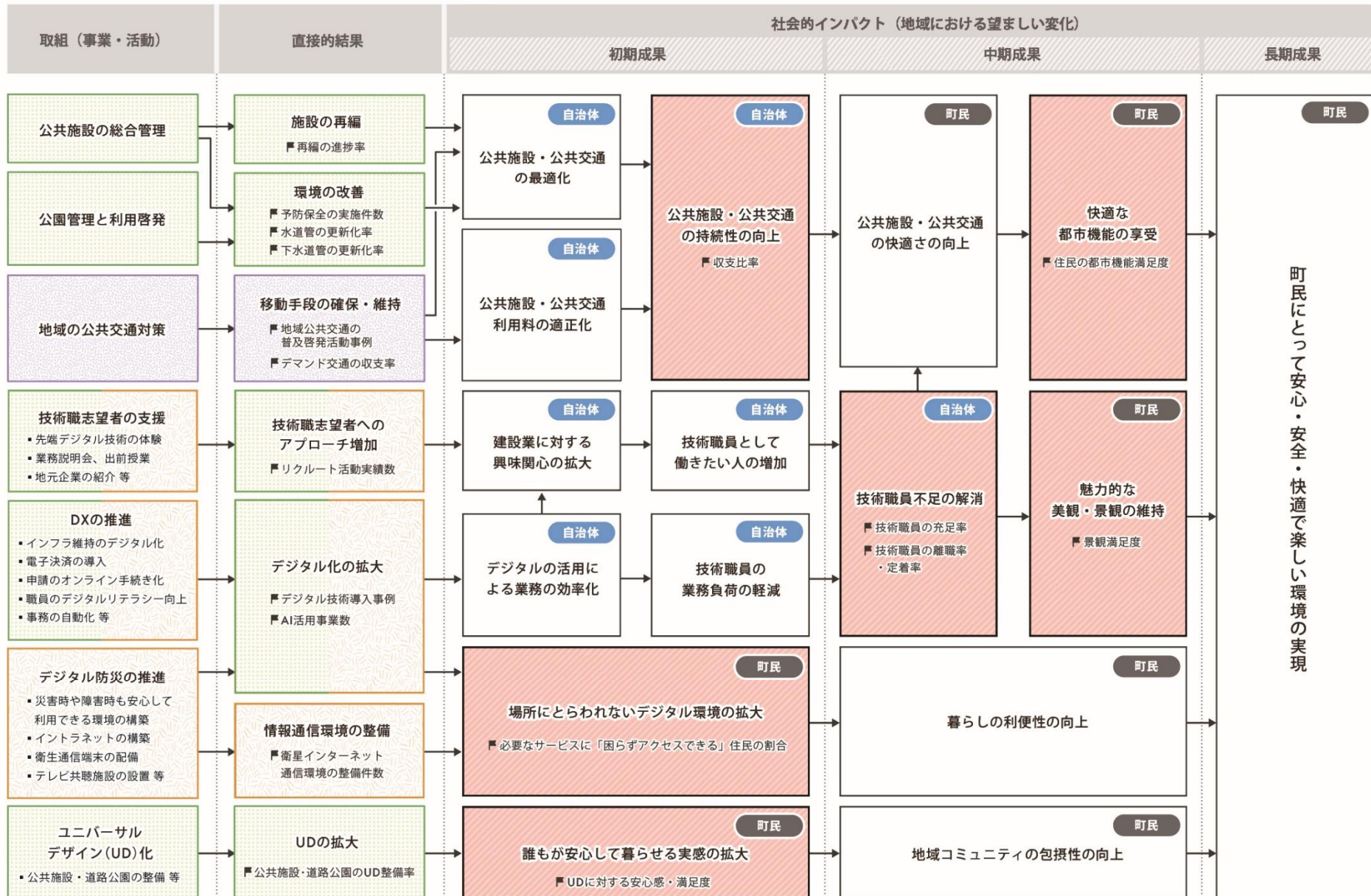
建設課

総務課

まちづくり推進課

指標

重要な成果



2026年3月

3-14. 人と自然にやさしい循環型社会づくり

施策が実現する未来（長期成果）

新たな価値を創造するまちに優しい持続可能な循環型社会の実現



■施策要旨

■担当部署：まちづくり推進課、住民課、建設課

環境保全の啓発、ゼロカーボンの推進、堆肥化の促進、官民連携の推進により、自然を大切にする生活習慣を定着させます。自然資本を活かした商品・サービスの増加、循環型事業の創出、遊休建物の再利用促進を通じて、豊かな里山や生物の維持・回復を図ります。循環型の暮らしをまちの風景とし、新たな価値を創造する持続可能な社会の実現を目指します。

取組からうまれる結果

直接的結果	結果指標
自然資本を活かす連携事業の増加	連携事業数
取り組む意義の認知	生ごみ堆肥化容器・処理機購入補助事業活用件数
正しい分別の周知	転入者配布到達率
意見交換の増加	環境会議開催回数
制度利用者の増加	制度利用者数

地域にうまれる変化

区分	誰が・何が	どうなる（望ましい状態）	成果指標
初期成果	企業 町民	遊休建物の再利用が促進	再生された遊休建物の件数
	企業 町民	自然資本を活かした商品サービスの増加	地域資源を活用した新商品・新サービスの件数
	町民	環境保全・活用への関心が増加	環境保全への関心度
中期成果	町民	自然を大切にする生活習慣の持続	町民1人1日あたりのごみ排出量
	町民	豊かな里山や生物の維持・回復	無立木地の面積

14 | 人と自然にやさしい循環型社会づくり

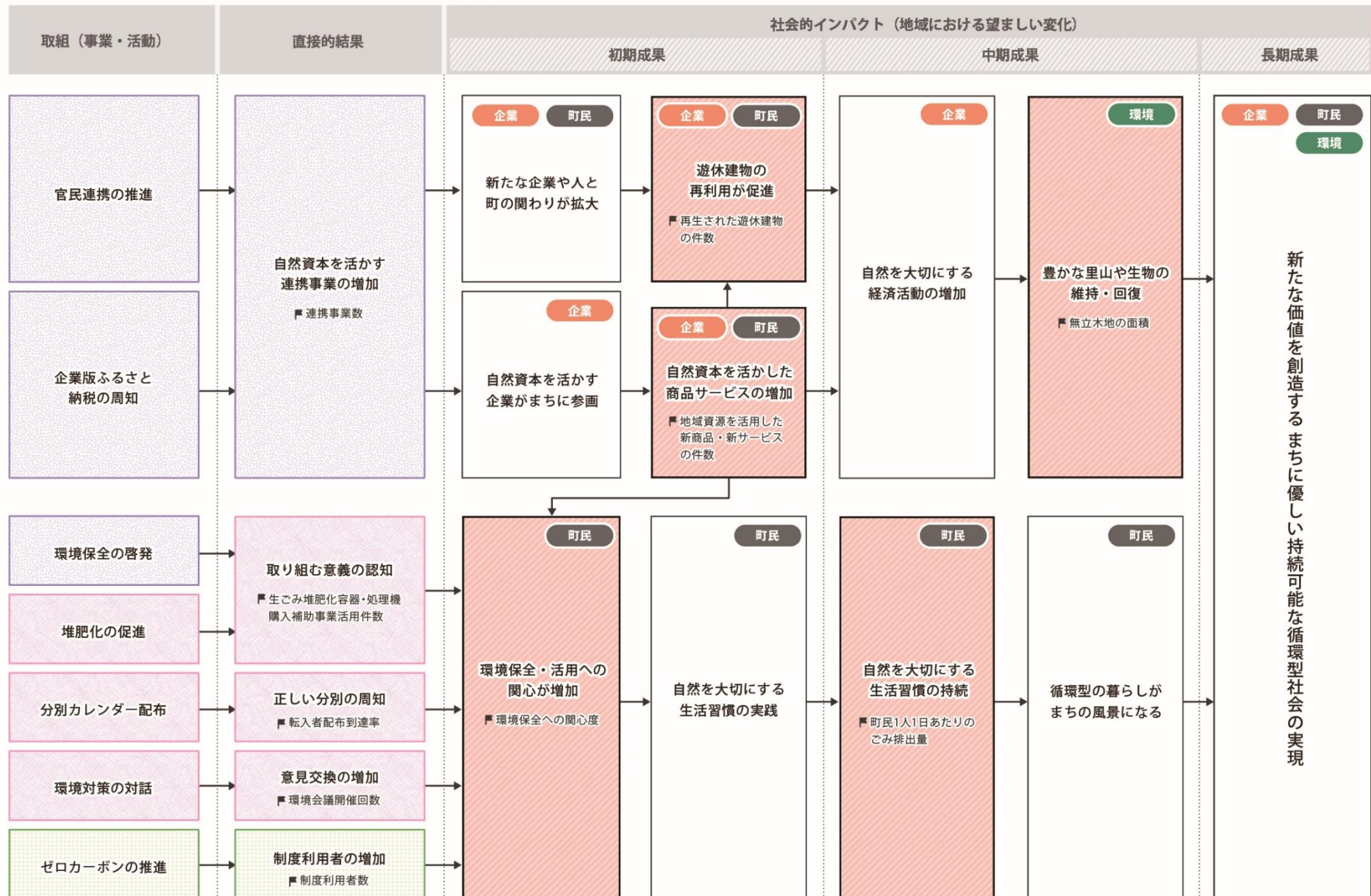
まちづくり推進課

住民課

建設課

指標

重要な成果



2026年3月

3-15. 住まい方の充実・定住促進

施策が実現する未来（長期成果）

誰もが満足できるきれいで楽しい住環境の実現

■施策要旨

■担当部署：建設課、まちづくり推進課

公的賃貸住宅の再編と集約化、遊休空間の利活用促進、土地区画管理の適正化、住宅管理の適正化により、町民の暮らしやすさを向上させます。まちを楽しめるお店や施設の増加、多様なコミュニティの形成、建築・不動産の専門人材の確保を通じて、地域への居留意欲を高めます。誰もが満足できるきれいで楽しい住環境を整備し、定住人口の増加を目指します。

取組からうまれる結果

直接的結果	結果指標
制度利用者の増加	①制度利用者数 ②簡易水道普及率 ③下水道水洗化率
掲載物件の増加	物件数
住宅状況の把握	空き家件数
採用情報の認知向上	リクルート活動実績数
移住相談者数の増加	相談者数
応募者数の増加	地域おこし協力隊応募者数
ふるさと町民の増加	ふるさと町民数
公営住宅等の適正化	公営住宅の用途廃止数



地域にうまれる変化

区分	誰が・何が	どうなる（望ましい状態）	成果指標
初期成果	自治体	建築・不動産の専門人材が増加	専門人材誘致数
	自治体 町民	遊休空間の利活用が促進	利活用ポテンシャル指数
	移住希望者	地域への居留意欲が向上	移住候補地に対するイメージ評価
中期成果	町民	まちを楽しめるお店や施設が増加	人口 1,000 人当たりの飲食・小売・サービス施設数
	町民	公的賃貸住宅が効果的に活用	公営住宅入居率
	町民	町民が暮らしやすさを感じられている	主観的ウェルビーイングスコア

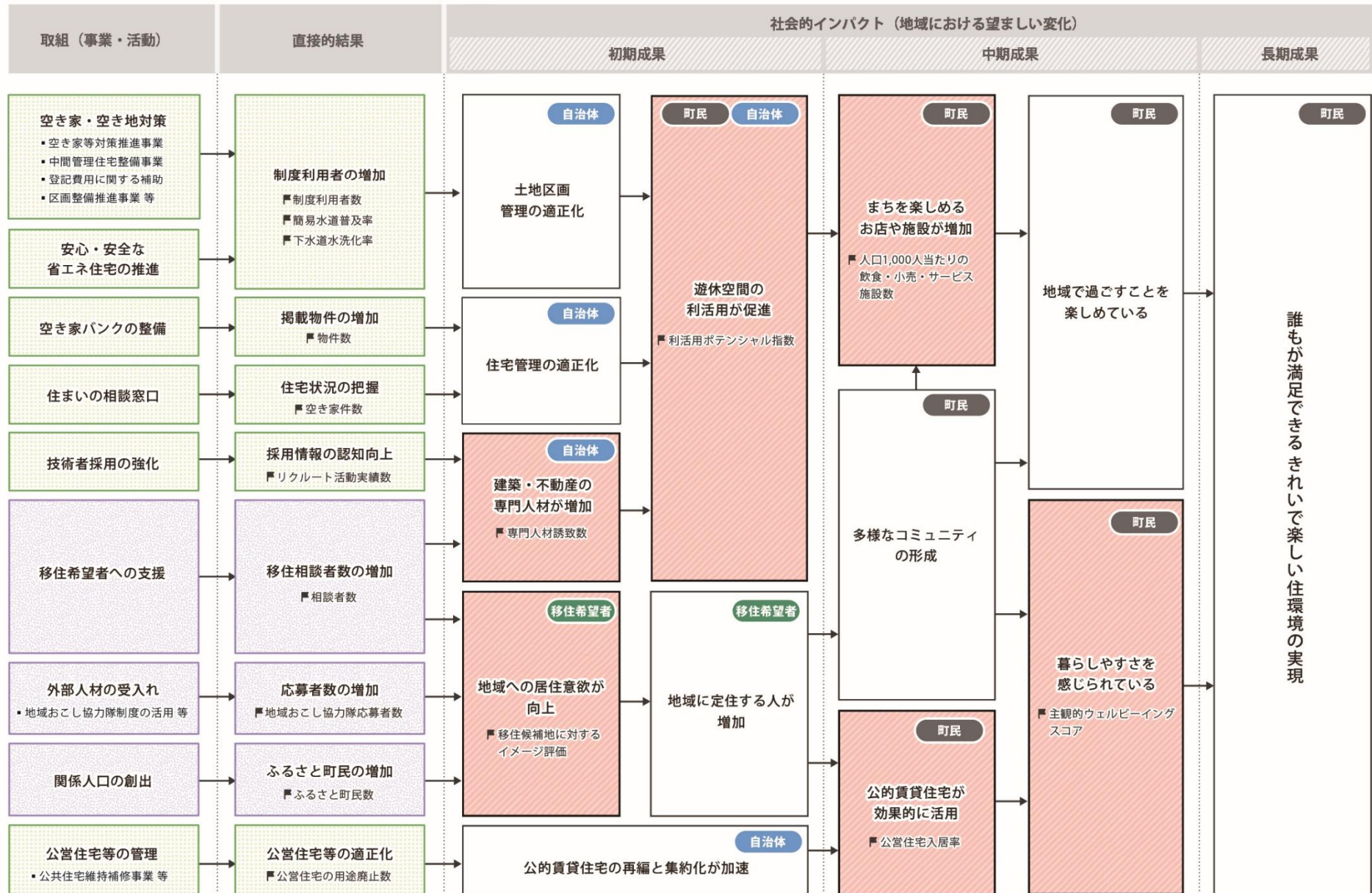
15 | 住まい方の充実・定住促進

建設課

まちづくり推進課

指標

重要な成果



2026年3月

3-16. 防災・危機管理能力の強化



施策が実現する未来（長期成果）

一人ひとりが安心できる「災害に強いまち・ひとづくり」の実現

■施策要旨

■担当部署：総務課

災害・危機管理計画の策定、防災備蓄品の整備、地域住民主導による防災力の強化、情報伝達力の強化、避難施設・経路の整備により、個人の防災力と地域力を向上させます。防災 DX の推進、防災組織の交流促進を通じて、住民の災害レジリエンスを高め、暮らしの再建や復旧・復興の迅速化を図り、一人ひとりが安心できる災害に強いまち・ひとづくりを目指します。

取組からうまれる結果

直接的結果	結果指標
計画の作成・更新	計画数
備蓄品の完備	概算備蓄率
住民参加の増加	北海道地域防災マスター活動者数
連携体制の構築	防災協定企業・団体との活動数
受信機設置の普及	世帯普及率
デジタル・IoT 導入率	導入率
防災（避難）施設や避難道路の適切な配置	整備率



地域にうまれる変化

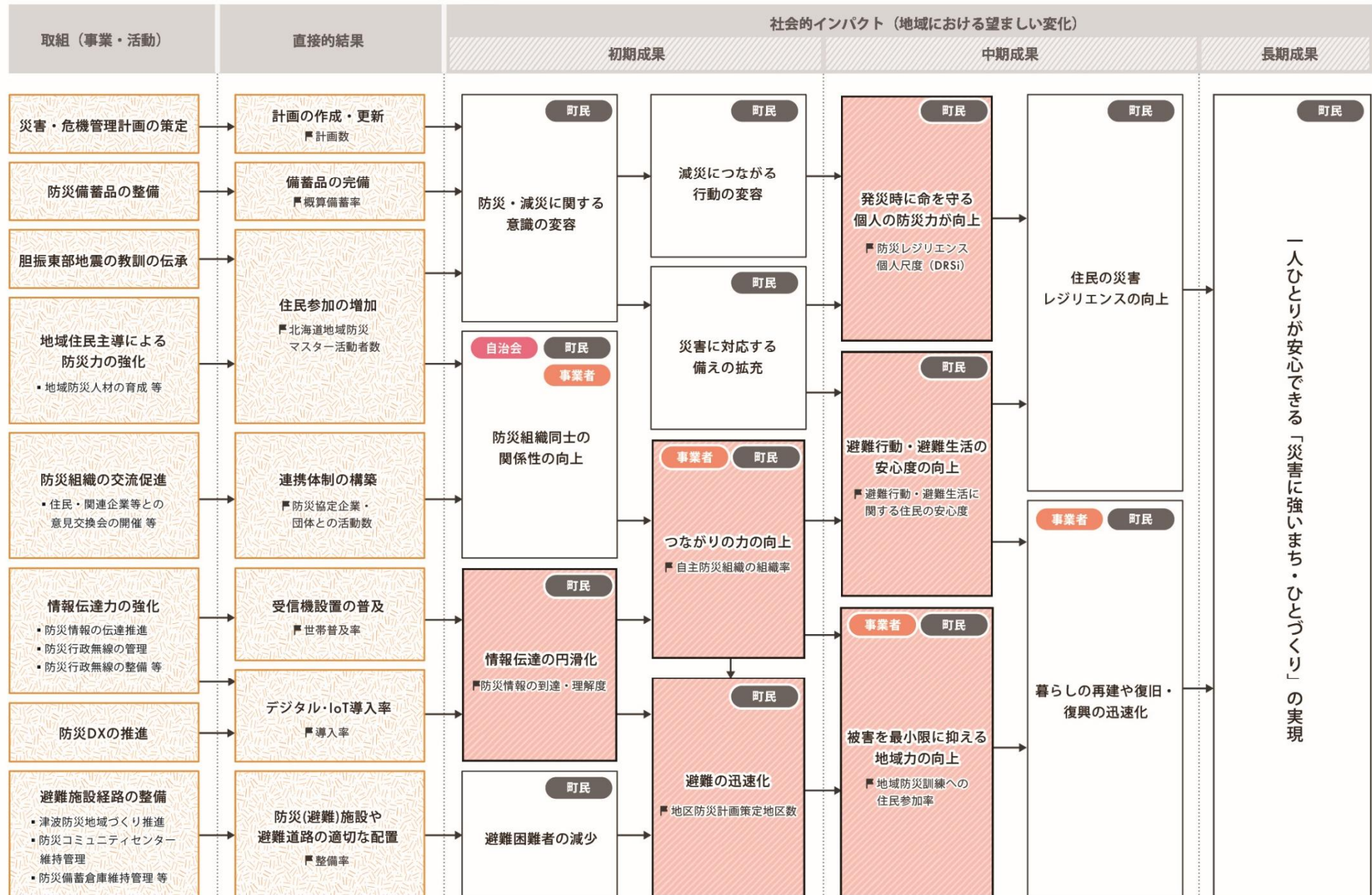
区分	誰が・何が	どうなる（望ましい状態）	成果指標
初期成果	町民	情報伝達の円滑化	防災情報の到達・理解度
	事業者 町民	つながりの力の向上	自主防災組織の組織率
	町民	避難の迅速化	地区防災計画策定地区数
中期成果	町民	発災時に命を守る個人の防災力が向上	防災レジリエンス個人尺度（DRSi）
	町民	避難行動・避難生活の安心度の向上	避難行動・避難生活に関する住民の安心度
	事業者 町民	被害を最小限に抑える地域力の向上	地域防災訓練への住民参加率

16 | 防災・危機管理能力の強化

総務課

指標

重要な成果



2026年3月

3-17. 町民共創による安心・安全なまちづくり



施策が実現する未来（長期成果）

住民同士が自ら手を取り合い、助けあえる地域の実現

■施策要旨

■担当部署：総務課、まちづくり推進課、生涯学習課（教育委員会）、住民課

自治会等の活動推進、住民活動の推進、ふるさと教育の推進、文化交流施設・広場の整備、学校運営協議会の運営により、地域住民同士のつながりを拡大します。地域課題解決の主体育成、共助意欲の向上、移動手段の確保を通じて、地域に暮らす人々の精神的豊かさとまちへの愛着を高めます。住民同士が自ら手を取り合い、助けあえる地域の実現を目指します。

取組からうまれる結果

直接的結果	結果指標
住民自治機能の維持	自治会数
コミュニティ活動の参加者の増加	新たな機会創出につながる事例 新たな機会創出度
参加者の増加	町民参加者数
施設利用の開始	整備率
学校教育への住民参画度向上	地域学校協働本部「あつまるねっ と」への延べ参加者数
通報件数の減少	通報件数
地域課題と解決策の見える化	学校や地域からの相談件数
移動手段の確保・維持	地域公共交通の普及啓発活動事例 デマンド交通の収支率

地域にうまれる変化

区分	誰が・何が	どうなる（望ましい状態）	成果指標
初期成果	町民	子どもが楽しく安全に遊べる場所の増加	学校・保育施設の遊び場面積比率
	町民	地域住民同士のつながりの拡大	地域活動への参加率
	町民	まちに対する愛着の増加	まちへの愛着肯定率
	町民	移動における便利さの実感	バス・タクシーを便利だと感じる住民の割合
中期成果	町民	地域課題を解決する主体が育っている	地域活動団体数と登録ボランティア数 参加者の意識変化
	町民	地域に暮らす人々の精神的豊かさの実感	主観的幸福度（自己効力感・健康状態）

17 | 町民共創による安心・安全なまちづくり

総務課

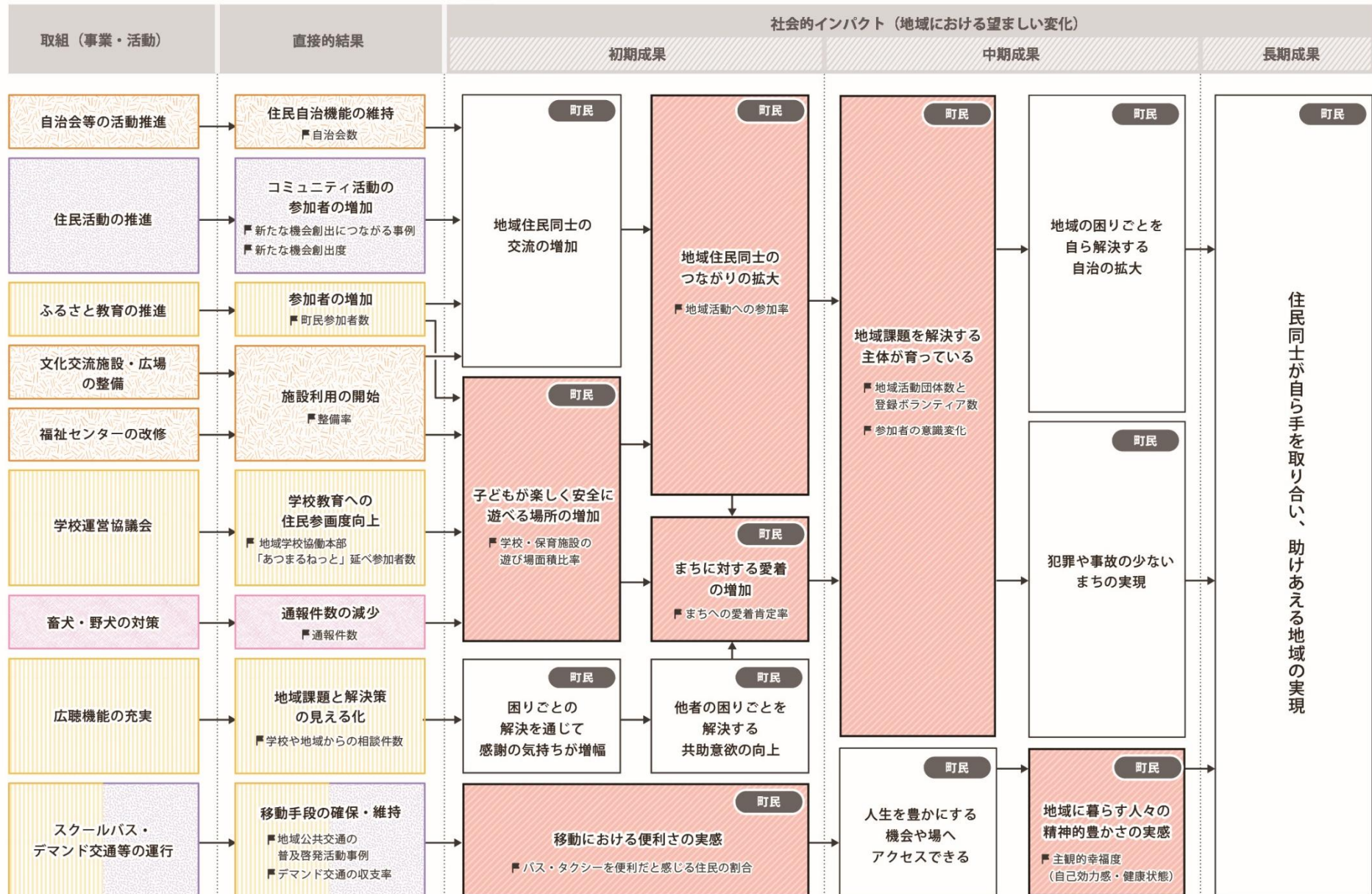
まちづくり推進課

生涯学習課

住民課

指標

重要な成果



2026年3月

3-18. 健全な行財政運営への転換

施策が実現する未来（長期成果）

暮らしを守る事業と組織の健全運営の実現

■施策要旨

■担当部署：まちづくり推進課、総務課

総合計画の策定・運用、定期的な情報発信、施策取組状況の開示、成長を促す人材育成、ふるさと納税の効果的な活用により、限られた資源で効果的な事業を推進します。職員の働きがい向上、業務量の適正化、経常収支比率の適切な維持を通じて、ヒト・モノ・カネ・情報の利活用を最大化し、暮らしを守る事業と組織の健全運営を実現します。

取組からうまれる結果

直接的結果	結果指標
町の取り組み認知度の増加	町ウェブサイト PV
ふるさと納税額の増加	ふるさと納税額
対話の機会増加	二点開示達成率
総合計画の運用	総合計画に係る職員研修実施回数
地方債残高の抑制	地方債残高（一般会計）
職員の意識・行動の変容	職員研修の満足度 職員の意識・行動変容度
新庁舎の完成	整備率

地域にうまれる変化

区分	誰が・何が	どうなる（望ましい状態）	成果指標
初期成果	自治体	行財政運営に関する住民意見の把握	行政運営への信頼度
	自治体	事業評価に基づいた柔軟な事業改善の実現	KPI 達成率および方向性の適合度
中期成果	自治体	経常収支比率を適切に維持	経常収支比率（Current Balance Ratio） 実質公債費比率（3 ヶ年平均）
	行政職員	職員の心身の健康を維持	ストレスチェック高ストレス者率 年次有給休暇取得率
	自治体	人材が集う魅力的な職場になっている	離職率 職員採用後 3 年定着率
	行政職員	職員が働きがいを持てている	職員エンゲージメントスコア 働きがい指標

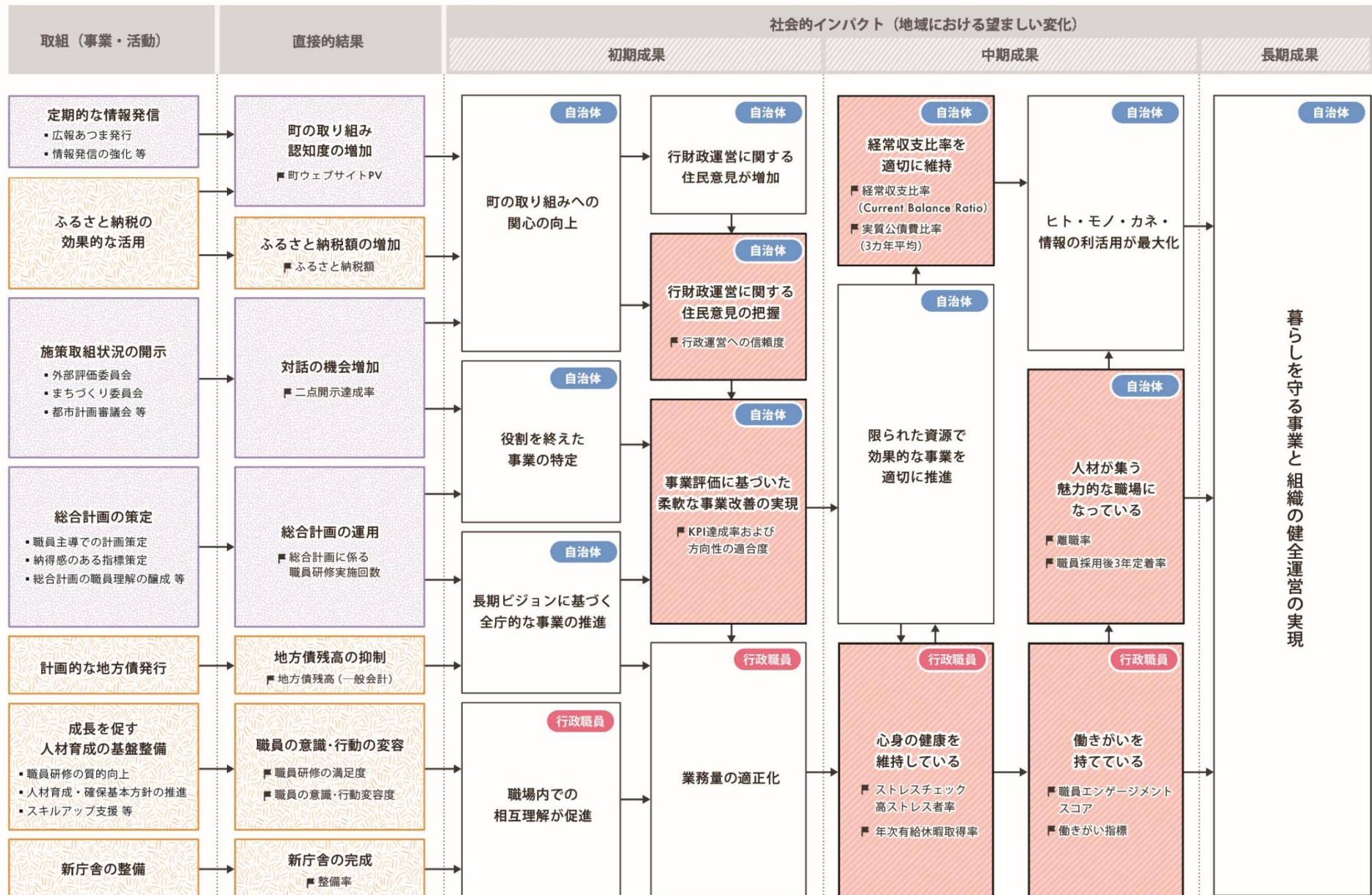
18 | 健全な行財政運営への転換

まちづくり推進課

総務課

指標

重要な成果



2026年3月

第4章 18 施策の結果指標と社会的インパクト一覧

ここでは、第3章の基本計画（ロジックモデル集）で記載されていたこの施策が実現する未来（社会的インパクトの長期成果）と結果指標を一覧化しています。

4-1. 子ども・子育て支援の充実

施策が実現する未来（長期成果）

地域ぐるみで安心して子どもを育てられるまちの実現

■結果指標

直接的結果	結果指標	現状値	目標値
資格取得者の増加	保育士資格取得者数	0	1人/年
情報共有の拡大浸透	子育て情報発信回数 ①HP更新回数 ②情報発信の回数	—	①12回/年 ②月に1回
職場環境の向上	研修満足度/職員満足度 ①研修後のアンケート収集 ②離職率・休暇取得率・ストレスチェック職場指数	—	①参加者の80% ②離職率3%、休暇取得率70%以上、ストレスチェック高ストレス者判定10%
制度の利用者の増加	子育て支援に係る制度利用者数	対象世帯の8割	対象世帯の9割
主体的な遊び場の充実	利用者実績数（属性の把握） ①利用者実績数 ②利用参加者へのアンケート調査（プレーパーク）	①対象世帯の5割 ②人数のみの把握	①対象世帯の7割 ②8回/年

4－2．教育・多様な学びの充実

施策が実現する未来（長期成果）

誰もが学びの主人公となり、未来をともに生きていける地域の実現

■結果指標

直接的結果	結果指標	現状値	目標値
相談者の増加	①発達支援センターへの相談者数 ②多様な学びに対する相談 （相談窓口受理件数、100 の学び場プロジェクト 「あつひゃく」参加者数）	—	①3 ②430（町民の 10%）
安心安全な学習環境の充実	①いじめ認知件数 ②重大事態件数 ③重大事故件数	①いじめ認知件数 46 件（小 27 中 19）（R6） ②重大事態件数 0 件 ③重大事故件数 0 件	0 又は少なくとも前年同水準以下
教育水準の向上	教員研修の開催数	—	年間 6 回（個人）
制度の利用者の増加	就学援助、育英資金など学びチャレンジ補助制度に係る制度利用者数	制度を 1 回以上利用した児童生徒数（R6） 小 26 人（11%） 中 17 人（14%）	児童生徒年 1 回以上の制度利用
参加者の増加	あつま未来カレッジ、ふるさと教育、100 の学びプロジェクト「あつひゃく」等の町民参加者数	29 人/1 回（R 7 平均値）	40 人/1 回
主体的な居場所の充実	居場所の有無	—	70%

4－3．歴史と文化の継承・スポーツの振興

施策が実現する未来（長期成果）

誰もが集い、つながり、楽しみ、いきがいを感じる暮らしの実現

■結果指標

直接的結果	結果指標	現状値	目標値
学校保健体育の充実	体力・運動能力調査結果	男子は全国平均値以上 女子は全国平均値以下	全国平均値以上
見学者・来場者の増加	町内・外参加者数 (軽舞遺跡調査整理事務所における見学者、来場者)	900 人程度	1200 人/年
文化財ガイドの増加	文化財ガイドの数	5 人	10 人
クラブ参加者の増加	登録者数	—	小中学生 70%
施設利用の開始	整備率	0 %	100%

4－4．官民学連携による人材の確保・育成

施策が実現する未来（長期成果）

誰もが町内外の人の挑戦を応援できる地域の実現

■結果指標

直接的結果	結果指標	現状値	目標値
活用事例の増加	起業化支援事業補助金・経営強化促進補助金（新分野拡大事業）活用実績数・内容	起業化支援事業補助金 7 件（R6）	起業化支援事業補助金 3 件
挑戦者の増加	起業家数	R1 から R6 の累計 27 件	5 年累計数 25 件
大学連携事業の増加	連携事業数 ①研究型地域おこし協力隊数 ②包括連携協定大学との連携事業数	—	①1 人/年 ②5 年累計数 10 件
活躍する人材の増加	地域おこし協力隊定住者数 地域活性化起業人受入人数	R6 年委嘱者数 6 人（内新規委嘱者 2 人）	5 年累計数 20 人
ふるさと町民の増加	ふるさと町民数	—	5 年後 200 人
参加者の増加	厚真未来カレッジ町民参加者数	29 人/回（R7 平均値）	40 人/回
観光者の増加	観光者数	150,885 人（R 6）	190,000 人

情報共有の拡大浸透	閲覧者数・発信者	1 回/週	1 回/週
イベント参加者の増加	イベント参加者満足度	—	ダブル同意率 75%
周辺地域の整備完了	整備率	0	100

4－5．高齢者福祉・介護の充実

施策が実現する未来（長期成果）

高齢者が安心して暮らせる地域の実現

■結果指標

直接的結果	結果指標	現状値	目標値
制度利用者の増加	国保連合会給付に係る受給者数	265	270
参加者の増加	高齢者福祉・介護に係るイベント参加者数 ①一般介護予防事業 ②夏季・冬季栄養教室、ゲートキーパー・こころの講演会	①138 ②10	①300 ②現状値 5 % 増
相談者の増加	地域包括支援に係る相談者数	106	150
サービスや場所の利用者の増加	高齢者福祉・介護に係るサービス・支援等利用者数	6710	6800
担い手の増加	ボランティア数	302	450

4－6．社会福祉・障がい福祉の充実

施策が実現する未来（長期成果）

どんな障がい・特性があっても認め支え合うまちの実現

■結果指標

直接的結果	結果指標	現状値	目標値
福祉人材基盤の形成	採用人数	年 12 人	年 10 人
個性に応じた学習環境の充実	多様な学びの事例	—	全国平均と同等を目指す

認知度の増加	相談先認知度	—	50%
参加者の増加	社会福祉・障がい福祉に係るイベントの参加者数 (夏季・冬季栄養教室、ゲートキーパー・こころの講演会)	10	現状値 5 % 増
利用者の増加	①まちなか交流館事業の利用者数 ②発達支援センター事業の利用回数	①12 名：1,395 回 ②14 名：221 回	①14 名：1,682 回 ②16 名：375 回
制度利用者の増加	障がい者支援制度の利用者数	—	対象児の 8 割
被支援者の増加	障がい者相談支援事業に係る相談支援件数	136 件	271 件
利用者の増加	①人工透析患者等送迎サービス事業利用者数・利用日数 ②通院交通費助成人数・助成延べ件数	①6 名：440 回 ②25 名：323 回	①6 名：755 回 ②25 名：646 件
バリアフリーの増加	工事完了率	小学校完了	R8 全校バリアフリー化改修工事完了

4-7. 保健・医療の充実

施策が実現する未来（長期成果）

健やかな心のふるさとづくりを通じた健康長寿のまちの実現

■結果指標

直接的結果	結果指標	現状値	目標値
参加者の増加	夏季・冬季栄養教室、ゲートキーパー・こころの講演会参加者数	10	現状値 5 % 増
検診初回受診者の増加	検診初回受診率	11%	現状値 3 % 増
保健医療の連携維持	各種健診・予防接種等の事業における連携実施数	64%	現状維持
かかりつけ医として利用する町民の増加	健康状態不明者の人数	15 人	13 人

4-8. 農畜産業の振興

施策が実現する未来（長期成果）

農畜産業者の魅力ある経営の実現

■結果指標

直接的結果	結果指標	現状値	目標値
就農相談件数の増加	相談件数	11 名（R 6）	12 名/年
農家の後継者の増加	親元で働く従事者数	2 名（R 7）	3 名/年
意欲的な挑戦の継続	支援件数	1 件（R 7）	1 件/年
農機導入の拡大	導入率	60%（R 6）	80%（中心的経営体の経営面積に対して）
捕獲頭数の拡大	エゾシカ捕獲頭数	1,399 頭（R 6）	1,700 頭/年
農地集積の向上	農地集積率	90%	95%
優良な個体の確保	確保件数	70%	70%

4－9. 林業の振興

施策が実現する未来（長期成果）

森林の多面的機能の回復と持続可能な林業の実現

■結果指標

直接的結果	結果指標	現状値	目標値
イベント参加者の増加	植樹祭参加者数	200 人	現状維持
木材・林業者新規就業者数の増加	従事者数	17	20
町産材の流通量増加	流通量	－	2025 年度から 1.5 倍
加工品の増加	新規加工品事例	－	－（定性評価）
新技術の導入	導入事例	－	－（定性評価）
機械・デジタル化の導入拡大	①ICT 化・省力化の導入	①－	①1 台
	②デジタル化率：経営強化促進補助金(ICT)化）の実績	②1 件（R7）	②1 件／5 年
有害鳥獣の適正化	ヒグマ事故数	0 頭	現状維持

4－10. 水産業の振興

施策が実現する未来（長期成果）

持続可能で高付加価値な漁業の実現

■結果指標

直接的結果	結果指標	現状値	目標値
水産資源の適正管理	漁組の求めに応じた施策実施事例	—	—（定性評価）
漁業参入に関する相談件数の増加	相談件数	1 件（R6 年度）	年間 1 件程度
制度利用者の増加	漁業振興対策特別貸付金利用者数	貸付件数 8 件 金額 12,780 千円（R5）	年間 5 件

4－11. 商工業・観光の振興

施策が実現する未来（長期成果）

地域資源を活かした新たな価値の創出による活気あるまちの実現

■結果指標

直接的結果	結果指標	現状値	目標値
経営戦略の強化	協働型地域おこし協力隊新規受入事業者数	—	単年 3 件
キャッシュレス決済・EC 事業の増加	EC 導入事業者数	1 件（EC 実績）（R6 年度）	年間 1 件
効果的な支援の実行	経営支援利用者数 ①経営強化促進補助金、②雇用拡大奨励金、③職住近接奨励金の実績	①7 件、②1 人、③2 人（R6）	年間 3 件
承継希望事業者の把握	事業承継に係る相談数	—	—
挑戦者の増加	プロジェクト参加者数 ①起業化支援事業補助金の実績 ②起業家人材育成支援事業の総参加者数	①7 件（R6） ②—	①年間 3 件 ②単年延べ人数 60 人
不動産相談件数の増加	空き家バンク相談件数、空き家バンク掲載数	—	単年新規相談数と単年

			掲載数合計 8 件
観光者の増加	観光入込客数	150,885 人 (R6)	190,000 人
情報共有の拡大浸透	拡散係数 (四半期の総シェア数 ÷ 四半期の総リーチ人数) × 1000	0.3	14
イベント参加者の増加	イベント参加者満足度 (魅力度+再訪意向)	—	ダブル同意率 75%

4-12. 地域経済の活性化

施策が実現する未来（長期成果）

豊かさを実感できる持続可能な地域経済の確立

■結果指標

直接的結果	結果指標	現状値	目標値
活躍する人材の増加	地域おこし協力隊定住者数	—	70%
利用者の増加	サテライトオフィス利用率	86% (R6)	80%
施設利用の開始	整備率	0	100
官民連携の強化	官民連携事業数	7 件 (R6)	年間 5 件維持
挑戦者の増加	起業者数	R1 から R6 の累計 27 件	5 年累計数 25 件
起業者の売上増加	起業者の売上金額	—	スタートから 5 年後に 4 億円増加
地域で経営を続ける事業者の増加	商工会会員数	153 事業者 (R6 年度末)	170 事業者 (目標年度)
カード利用者の増加	あつまるカード発行数	5,154 枚 (R6 年度末)	年間新規 50 枚
観光者の増加	観光者数	150,885 人 (R6)	190,000 人
寄付の増加	企業版ふるさと納税件数	5 件	年平均 10 件

4-13. 都市機能の最適化

施策が実現する未来（長期成果）

町民にとって安心・安全・快適で楽しい環境の実現

■結果指標

直接的結果	結果指標	現状値	目標値
施設の再編	再編の進捗率	87 橋	集約化・撤去 1 橋
環境の改善	予防保全の実施件数 ①公園毎の点検回数 ②草刈回数等	①年 1 回 ②年 3 回程度	①年 1 回 ②年 4 回
	①簡易水道事業：水道管の更新化率 ②下水道事業：下水道管の更新化率	①水道管総延長 208km ②下水道管総延長 19km	①水道管 0.5%更新/年 ②下水道管 0.2%更新/年
移動手段の確保・維持	地域公共交通の普及啓発活動事例 デマンド交通の収支率	4.33%	定性的な事例の収集及び 4.0%の維持（4.0%を下回らない）
技術職志望者へのアプローチ増加	リクルート活動実績数	—	3 回/年
デジタル化の拡大	デジタル技術導入事例、AI 活用事業数 ①デジタル技術導入事例及び、委託先事業者の AI 活用事例 ②各種申請のオンライン申請導入 ③役場内のデジタル技術活用事例及び AI 活用事例数、及び、 町内のデジタル技術活用や AI 活用に資する事業数	①試験採用 2 事業 ②— ③—	①5 件/10 年 ②80% ③2 件/年、計 20 件
情報通信環境の整備	避難所や防災関連施設における衛星インターネット通信環境 の整備件数	—	1 件/年、計 10 件
ユニバーサルデザイン(UD)の拡大	公共施設・道路公園の UD 整備率	50%	バリアフリー化 70% 整備率 100%

4-14. 人と自然にやさしい循環型社会づくり

施策が実現する未来（長期成果）

新たな価値を創造するまちに優しい持続可能な循環型社会の実現

■結果指標

直接的結果	結果指標	現状値	目標値
自然資本を活かす連携事業の増加	連携事業数 (官民連携プロジェクト数、自然資本活用事業に対する企業版ふるさと納税件数)	—	5 年累計 8 件
取り組む意義の認知	生ごみ堆肥化容器・処理機購入補助事業活用件数	5 件	予算計上時の件数
正しい分別の周知	分別カレンダー転入者配布到達率	100%	現状維持
意見交換の増加	環境会議開催回数	年 1 回	各会議年 1 回以上
制度利用者の増加	ゼロカーボン補助金利用者数	約 120 件	500 件(R17 年度の累積目標件数)

4-15. 住まい方の充実・定住促進

施策が実現する未来（長期成果）

誰もが満足できるきれいで楽しい住環境の実現

■結果指標

直接的結果	結果指標	現状値	目標値
制度利用者の増加	①制度利用者数 ②簡易水道事業：普及率 ③公共下水道事業・浄化槽事業：水洗化率	①年間平均 2 件 ②簡易水道事業：95.44% ③公共下水道事業：99.26% 浄化槽事業：78.54%	①年間 2 件 ②簡易水道事業：97% ③公共下水道事業：99.4% 浄化槽事業：85%
掲載物件の増加	空き家バンク物件数	—	50 件
住宅状況の把握	空き家件数	162 件	120 件
採用情報の認知向上	リクルート活動実績数	—	町内で 1 人増/年
移住相談者数の増加	相談者数	約 15 件	単年 20 件
応募者数の増加	地域おこし協力隊応募者数	約 15 件	単年 20 件
ふるさと町民の増加	ふるさと町民数	14 人	200 人
公営住宅等の適正化	公営住宅の用途廃止数	22 戸	58 戸

4-16. 防災・危機管理能力の強化

施策が実現する未来（長期成果）

一人ひとりが安心できる「災害に強いまち・ひとづくり」の実現

■結果指標

直接的結果	結果指標	現状値	目標値
計画の作成・更新	災害・危機管理計画数	—	100%
備蓄品の完備	概算備蓄率	55.5%	70%以上
住民参加の増加	北海道地域防災マスター活動者数	6人（R6）	40人/年以上 ※概ね年4回開催
連携体制の構築	防災協定企業・団体との活動数	—	10回/年以上
受信機設置の普及	世帯普及率	84.4%	90%以上
デジタル・IoT導入率	導入率	—	1件/年、計10件以上
防災（避難）施設や避難道路の適切な配置	整備率	—	100%

4-17. 町民共創による安心・安全なまちづくり

施策が実現する未来（長期成果）

住民同士が自ら手を取り合い、助けあえる地域の実現

■結果指標

直接的結果	結果指標	現状値	目標値
住民自治機能の維持	自治会数	34	34
コミュニティ活動の参加者の増加	新たな機会創出につながる事例 新たな機会創出度	—	満足 Top2 率: 88%以上 交流成立率: 65%以上 継続意向率: 82%以上 ダブル同意率: 55%以上
参加者の増加	厚真未来カレッジ参加者数	29人/回	40人/回
施設利用の開始	整備率	0	100

学校教育への住民参画度向上	地域学校協働本部「あつまるねっと」への延べ参加者数	563 人 (R7)	500 人/年
通報件数の減少	畜犬・野犬に係る通報件数	—	10 件未満
地域課題と解決策の見える化	学校や地域からの相談件数	—	20 件/年
移動手段の確保・維持	地域公共交通の普及啓発活動事例 デマンド交通の収支率	4.33%	定性的な事例の収集 4.0%の維持（4.0%を下回らない）

4-18. 健全な行財政運営への転換

施策が実現する未来（長期成果）

暮らしを守る事業と組織の健全運営の実現

■結果指標

直接的結果	結果指標	現状値	目標値
町の取り組み認知度の増加	町ウェブサイト PV	—	60%
ふるさと納税額の増加	ふるさと納税額	620,758 千円 (R6 決算)	1,000,000 千円
対話の機会増加	二点開示達成率	—	100%
総合計画の運用	総合計画に係る職員研修実施回数	—	1 回/年
地方債残高の抑制	地方債残高（一般会計）	12,020,395 千円 (R6 決算)	8,000,000 千円
職員の意識・行動の変容	職員研修の満足度アンケート 職員の意識・行動変容度	—	自分の行動や意識が変容したと自覚する職員の割合 30% 周囲の行動が変容したと感じる職員の割合 20% 自由記述欄に研修要望を記載する職員の割合 10%
新庁舎の完成	整備率	0%	100%

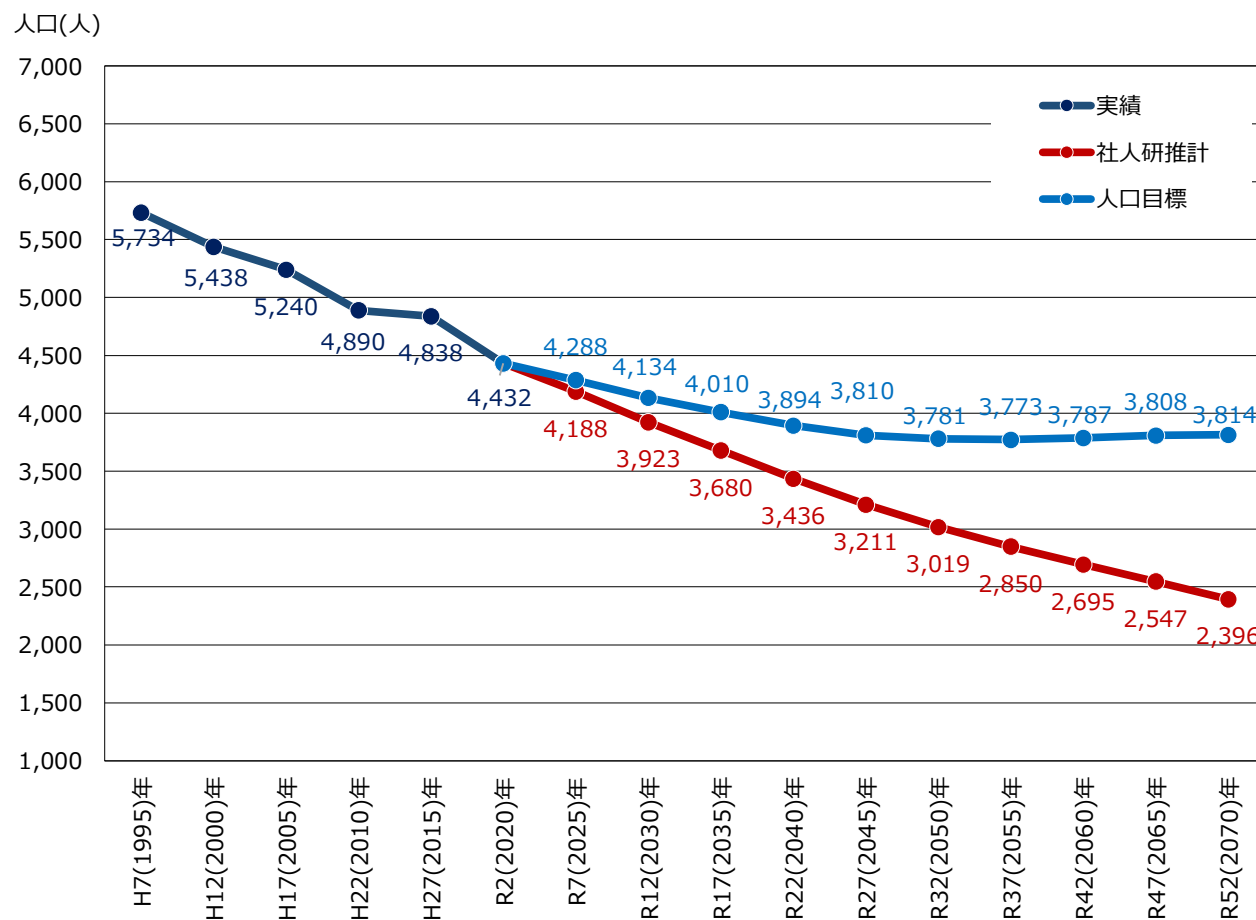
第4編 付 録

第4編 付 録

第1章 厚真町の人口の見通し

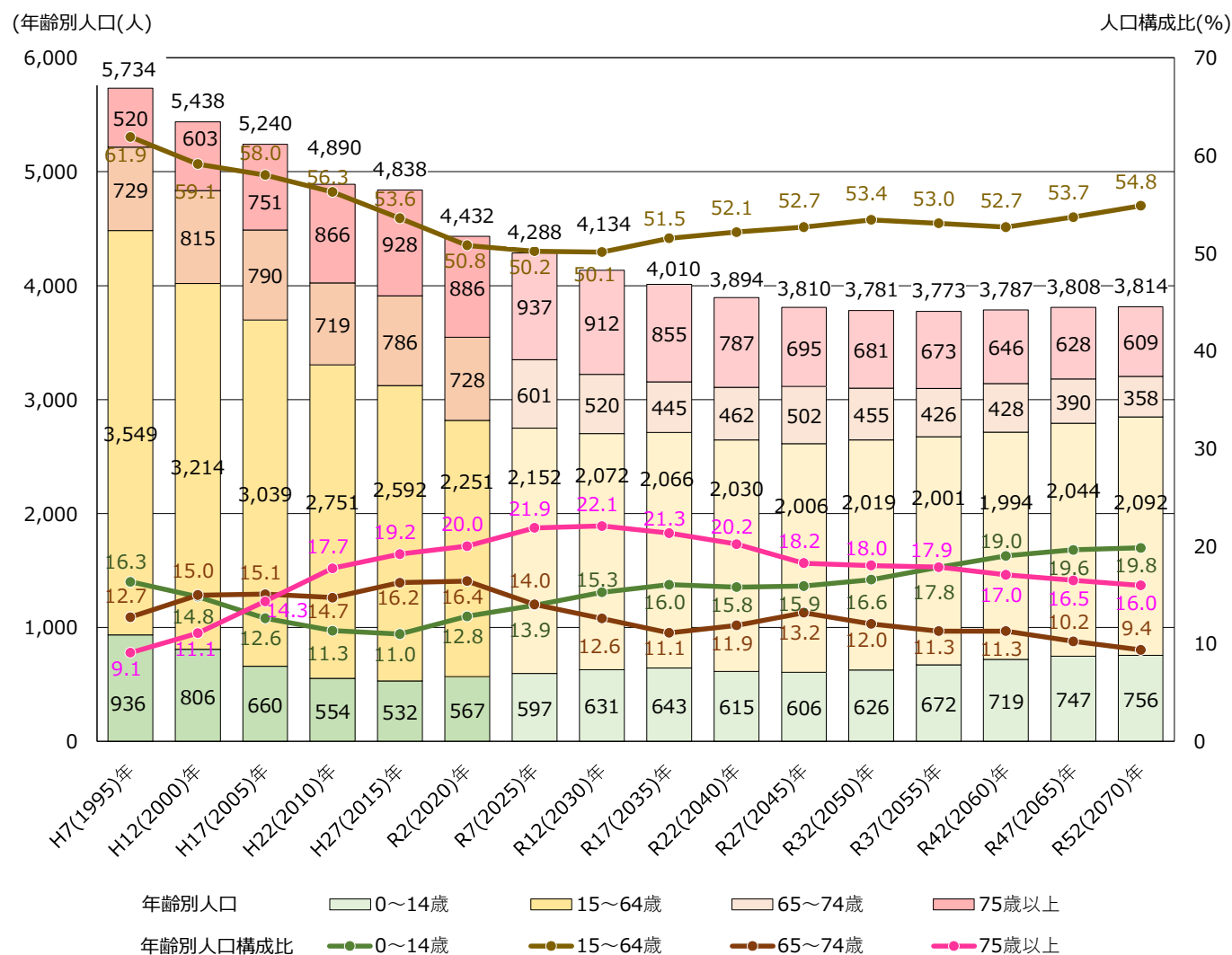
本計画の推進により、地域資源の活用、移住・定住促進、空き家活用、ローカルベンチャーやシェアオフィス等の環境整備を進めます。Uターン就業者や副業・二地域居住希望者の確保を促進し、**令和27年（2045年）以降、人口約3,800人**で安定的に推移することを目標とします。

図 厚真町の今後の人口推移見通し



これにより、合計特殊出生率の増加傾向の維持と、毎年5世帯の30代子育て世帯の転入により、令和12年（2030年）頃から生産年齢人口と年少人口が増加に転じます。人口は令和32～37年（2050～2055年）頃の約3,800人を底に微増し、以降は安定的に推移すると見込まれます。

図 厚真町の今後の人口構成の見通し



第2章 土地利用ビジョン

2-1 基本的な考え方

厚真町は、市街地が豊かな自然や農地に囲まれた特有の都市構造を持っています。この特性を活かし、町内全域を5つのゾーンに区分し、安全・安心で快適な都市構造の実現を目指します。

2-2 5つのゾーンによる土地利用

2-2-1 賑わいあふれる市街地

都市機能の集積と防災拠点機能の向上を図り、町民や移住・定住者、二地域居住者にとって魅力的な市街地を形成します。サテライトオフィスやゼロカーボンビレッジなど新たな分譲地整備を推進し、職住近接の市街地を実現します。

- ・住宅地：中心商業地周辺や幹線道路沿道に一般住宅地、豊沢・新町・本郷・上厚真地区に低層専用住宅地を配置
- ・商業業務地：厚真市街地内に生活利便施設、主要幹線道路沿道に沿道サービス施設を誘導
- ・工業業務地：豊沢地区の企業誘致を推進
- ・未利用地：市街地への居住誘導を図り、郊外部の無秩序な開発を抑制。大規模未利用地は新たな分譲地整備により活用

2-2-2 豊かな森林地域

都市計画区域北部の山間地・丘陵地域は、森林の再生と林業の復興を図ります。災害防止、環境保全、自然景観保全の場として位置づけ、厚幌ダム・厚真ダムを中心とした景観・観光の場、都市との交流の場として活用します。

2-2-3 輝く田園地域

都市計画区域中部から南部の水田を中心とした農村地域は、水と緑に恵まれた農村環境を形成します。農業振興地域整備計画に基づき優良な農地を保全し、水稻を中心とした生産性向上を図ります。グリーン・ツーリズムなどにより、町民の自然とのふれあいの場や都市住民との交流の場を創出します。

2-2-4 美しい臨海地域

浜厚真地区の海岸は、日高胆振沿岸海岸保全基本計画（北海道）による海岸の保全を図ります。

2-2-5 魅力ある工業地域

苫小牧東部地域は、苫小牧東部開発新計画や港湾計画に基づき、工業用地、物流機能、研究開発機能を配置します。

2-3 交流拠点機能の充実と創出

2-3-1 既存拠点

こぶしの湯あつま・あつまスタードーム周辺、役場周辺の機能複合化

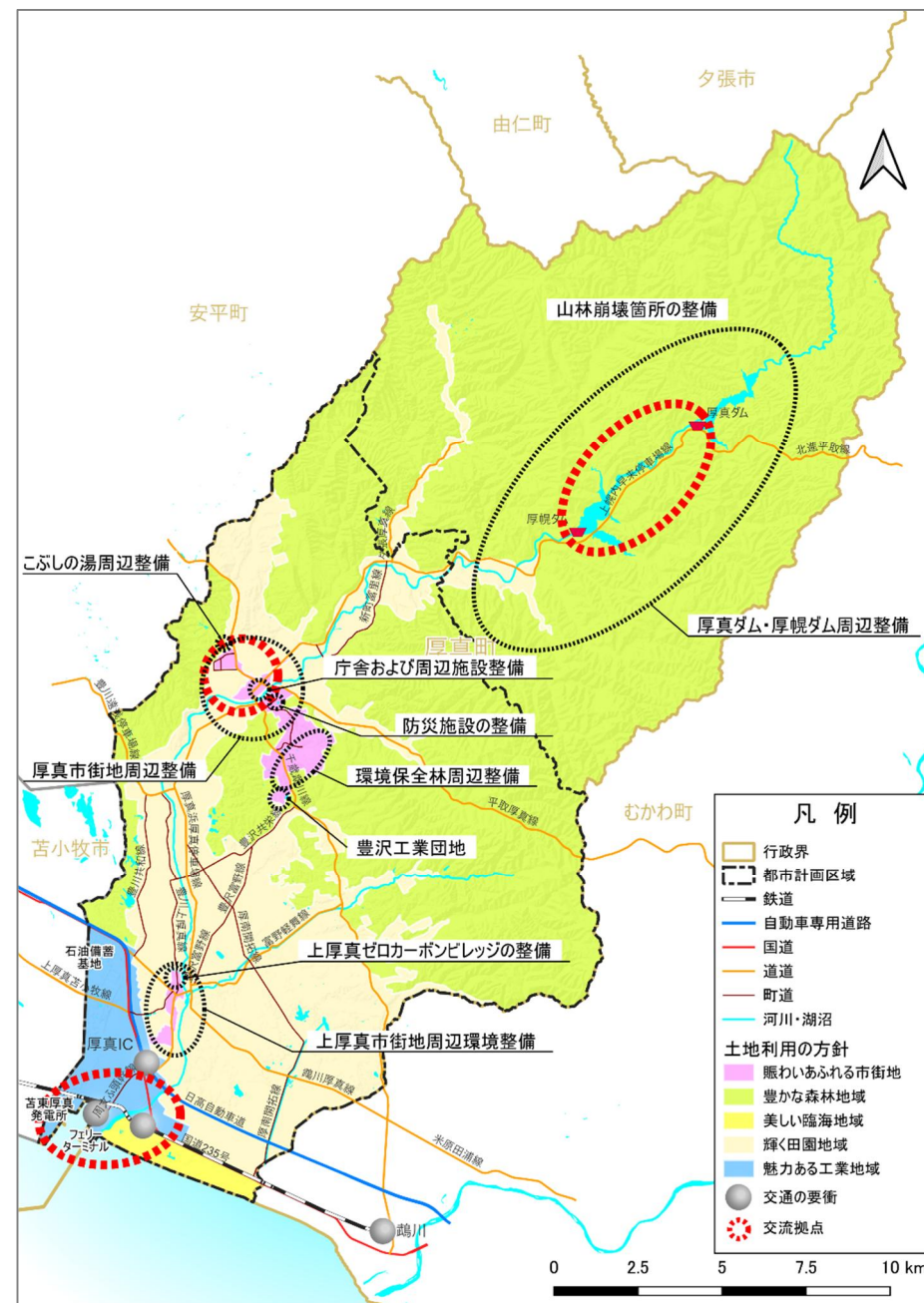
2-3-2 新たな拠点

厚真 IC、フェリーターミナル、浜厚真野原公園、浜厚真海浜公園周辺における地場製品の販売拡大と PR 機能の充実

2-4 市街化調整区域における地域振興

優良な農地と森林の適切な保全・管理、グリーン・ツーリズムなどによる魅力ある農村環境の創出、災害被災地域における集落再生と住まいの再建支援を実施します。

2-5 土地利用の基本方針図



第3章 総合計画策定のあゆみ

令和6年度（2024年度）

日	内容	対象	詳細
4月26日	第5次総合計画策定方針 ブレインストーミング	庁内職員	町の現状や課題、将来像の可視化・共有
8月6日～ 9日	あつま課題発掘会議（事前インタビュー） ～ 中高生が拓くまちづくり編～	町内の中学校・高校に通学する中高生、高校生	ワークショップの事前準備のために、中高生による保護者、高齢者へのインタビュー
8月16日	あつま課題発掘会議 ～ 中高生が拓くまちづくり編～	町内の中学校・高校に通学する中高生、高校生	事前インタビュー結果を基にした教育・福祉分野の課題整理ワークショップ
9月18日	あつま課題発掘会議 ～ まちづくりを担う人材編～	町内在住の一般町民など	まちの現状や課題について考えるワークショップ
9月19日	あつま課題発掘ワークショップ ～ 女性とキャリア編～	町内在住の女性	女性が起業やキャリアアップを目指すうえで感じる課題について話し合うワークショップ
9月20日	令和6年度第1回まちづくり委員会	まちづくり委員会	第5次厚真町総合計画の策定方針について
9月26日～ 10月24日	担当原課ヒアリング	庁内職員	事務局が各施策担当者に現状や課題についてヒアリング
10月7日	新総合計画策定に関する調査特別委員会	新総合計画策定に関する調査特別委員会	第5次厚真町総合計画策定方針（案）について
10月23日	第1回厚真町総合計画策定委員会	厚真町総合計画策定委員会	厚真町総合計画策定委員会設置要綱、第5次厚真町総合計画策定方針について
11月7日	令和6年度第1回厚真町総合計画策定プロジェクトチーム会議	厚真町総合計画策定プロジェクトチーム	キックオフミーティング
11月20日～ 12月16日	厚真町総合計画及び都市計画マスタープランの見直しに向けた意向調査	15才以上の町内在住者から無作為に抽出した町民1,000人	地域幸福度（Well-Being）指標及び都市計画マスタープラン見直しに関するアンケート調査
12月24日～ 25日	令和6年度第2回厚真町総合計画策定プロジェクトチーム会議	厚真町総合計画策定プロジェクトチーム	課題構造マップ作成に向けた事前説明会
1月8日～ 1月23日	庁内課題構造整理	庁内職員	担当原課ごとで課題構造マップ作成に向けた19施策の課題整理
2月6日	令和6年度第3回厚真町総合計画策定プロジェクトチーム会議	厚真町総合計画策定プロジェクトチーム	厚北地域防災コミュニティセンターで19の施策分野の課題構造マップを作成するワークショップ

日	内容	対象	詳細
3月18日	令和6年度第2回まちづくり委員会	まちづくり委員会	第5次厚真町総合計画策定の進捗について

令和7年度（2025年度）

日	内容	対象	詳細
6月10日	令和7年度第1回まちづくり委員会	まちづくり委員会	第5次厚真町総合計画基本構想（案）について
6月17日	新総合計画策定に関する調査特別委員会	新総合計画策定に関する調査特別委員会	第5次厚真町総合計画基本構想（案）について
7月2日	「活用される総合計画策定研究会」（第1回）	厚真町総合計画策定プロジェクトチーム、事務局	日本生産性本部主催の研究会
7月3日	令和7年度第1回厚真町総合計画策定プロジェクトチーム会議	厚真町総合計画策定プロジェクトチーム	ロジックモデル作成のための事前説明
7月23日	「活用される総合計画策定研究会」（第2回）	厚真町総合計画策定プロジェクトチーム、事務局	日本生産性本部主催の研究会
7月28日～29日	令和7年度第2回厚真町総合計画策定プロジェクトチーム会議	厚真町総合計画策定プロジェクトチーム、関係職員	ロジックモデル作成のワークショップ
8月18日	「活用される総合計画策定研究会」（第3回）	厚真町総合計画策定プロジェクトチーム、事務局	日本生産性本部主催の研究会（長野県小諸市への先進地現地視察）
9月30日	「活用される総合計画策定研究会」（第4回）	厚真町総合計画策定プロジェクトチーム、事務局	日本生産性本部主催の研究会
1月7日	令和7年度第3回厚真町総合計画策定プロジェクトチーム会議	厚真町総合計画策定プロジェクトチーム、関係職員	指標検討のための事前説明
1月22日	令和7年度第4回厚真町総合計画策定プロジェクトチーム会議	厚真町総合計画策定プロジェクトチーム、関係職員	指標選定のためのワークショップ
2月6日～3月10日	第5次厚真町総合計画(素案)及び厚真町第3期地方創生総合戦略(素案)の意見募集(パブリックコメント)	町内に住所を有する方など	意見3件
5月20日	令和8年度第1回まちづくり委員会	まちづくり委員会	第5次厚真町総合計画（案）の諮問・答申について

第4章 総合計画策定メンバー

厚真町総合計画策定委員会委員

区分	役職	氏名
委員長	副町長	西野 和博
副委員長	教育長	遠藤 秀明
委員	地方創生担当理事	大坪 秀幸
委員	総務課長	佐藤 大輔
委員	まちづくり推進課長	宮下 桂
委員	住民課長	藤岡 隆志
委員	産業経済課長	木戸 達也
委員	建設課長	佐藤 義彦（～R7年6月） 田中 紀嘉（R7年10月～）
委員	生涯学習課長	阿部 雄史

事務局

所属	役職	氏名
まちづくり推進課	課長	宮下 桂
まちづくり推進課企画調整G	主幹	江川 允典
まちづくり推進課企画調整G	主査	矢代 直樹
まちづくり推進課企画調整G	主査	北川 桂
まちづくり推進課企画調整G	主事	菊地 崇斗

厚真町総合計画策定プロジェクトチーム

区分	所属	役職	氏名
チームリーダー	総務課 情報防災 G	参事	小山 敏史
チームメンバー	庁舎周辺等整備推進室	主任	池川 勲
副チームリーダー (R 6)	総務課 総務人事 G	主幹	丸山 泰弘 (R 6)
チームメンバー		主査	永澤 宏基 (R 7)
チームメンバー	総務課 財政 G	主査	大平 賢
チームメンバー	まちづくり推進課 政策推進 G	主査	小松 美香
副チームリーダー (R 7)	住民課 福祉 G	主幹	高橋 卓嗣
チームメンバー	住民課 町民生活 G	主任	木澤 真生
チームメンバー	住民課 健康推進 G	主任	杉山 効平
チームメンバー	住民課 子育て支援 G	主査	今野 果倫
チームメンバー	産業経済課 経済 G	主査	澤井 順英
チームメンバー	産業経済課 農業 G	主査	岡橋 篤志
チームメンバー	産業経済課 林業・ 森林再生推進 G	主事	三上 勇
チームメンバー	建設課 土木 G	主査	長谷川 翔吾
チームメンバー	建設課 上下水道 G	主事	飯岡 高基 (R 6)
		主査	中田 恭平 (R 7)
チームメンバー	建設課 都市施設 G	主任	上田 直輝
チームメンバー	会計室	主査	近藤 奈々子
チームメンバー	生涯学習課 学校教育 G	主査	日野 弥生
チームメンバー	生涯学習課 社会教育 G	主任	斉藤 烈

厚真町総合計画策定伴走支援

区分	氏名
厚真町地域活性化起業人	桑原 憂貴 (アンドパブリック株式会社 代表取締役)

あつま課題発掘会議

～中高生が拓くまちづくり編～

区分	氏名
中学生	押見 芽泉
中学生	日西 楓
中学生	安瀬 歩未
中学生	丸山 さくら
中学生	岩間 咲映
中学生	真野 光
中学生	館山 太雪
中学生	渡邊 聖涼
中学生	矢部 太郎
中学生	北川 侑
高校生	加藤 迅
高校生	蛭名 さくら
高校生	河原 悠月
高校生	兼本 洸埜

※令和6年度時点

あつま課題発掘会議

～まちづくり人材編～

氏名
畑山 貴英
山中 卓也
澤口 研太郎
丹羽 智大
荒谷 真美
水丸 和樹
大矢 仁
近藤 一郎
関西 正成
金丸 佳代
北村 剛也
土居 琴恵
松岡 美由紀
金谷 泰央
山口 和秀
神垣 明菜
古城 香
池川 勲
大垣 貴弘

あつま課題発掘ワークショップ

～女性とキャリア編～

氏名
山下 翔子
深澤 章子
北川 瞳
板垣 茜子
斉藤 直美
矢代 友香
宮野 和美
金子 あぐみ
野地 妙子
鎌田 えりか
堀田 祐美子
檜村 美輝